

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）
大正十年五月二十日發行

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

MAY 1921 No. 40.

大正十年五月
青島實業協會

月報

第四拾號

△本號要目▽

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| 經 | 銀 | 法 | 附 | 內 | 商 | 海 | 貿 | 資 | 論 |
| 濟 | 塊 | | 屬 | 外 | | 運 | | | |
| 統 | 並 | | 運 | 經 | | 及 | | | |
| 計 | 英 | | 動 | 濟 | | 鐵 | | | |
| | 米 | | 部 | 要 | | | | | |
| | 爲 | | 彙 | 報 | | | | | |
| | 替 | | 報 | | | | | | |
| | 相 | | 規 | | | | | | |
| | 場 | | | | | | | | |

青島實業協會月報 第四拾號

目次

論 說

△日支商業會議所設立の議……………一

資 料

△青島の石材……………六

貿 易

△青島貿易概況(三月)……………一二

△主要輸出入貨物情勢(三月)……………一二

△民船貿易(三月)……………一三

海 運 及 鐵 道

△青島港出入船舶(三月)……………一四

△內地近海運賃近況(三月)……………一五

△三驛發著主要貨物情勢(四月)……………一五

△九年度山鐵輸送貨物情況……………一六

商 況

□綿糸布 □砂糖 □燐寸 □白米 □花生實 □花生

油 □鹽 □牛脂 □鷄卵 □石炭……………

内外經濟要報

△輸出貿易發展根本策……………二三

△日英米の貿易額激減……………二三

△株式現物市場併置確實……………二四

△九年度滿鐵埠頭總貨物……………二五

△石油論爭起る小麥輸出……………二六

△九年度小麥輸出……………二七

△米國小麥引返す……………二八

△春分麥作景況……………二八

△直隸者の麥作……………二九

△內地鹽出整理問題……………二九

附屬運動部彙報

△九探勝旅行……………二九

△青島一週マラソン競走……………三〇

△山鐵對實業野球戰……………三〇

△運動部觀櫻會……………三〇

銀塊並ニ英米爲替

△大正十年四月中相場表……………三〇

法 規

△民政部所管建物貸下規則中改正……………三一

△官有土地貸下規則中改正……………三一

△銅票取締規則……………三一

寄 贈 書 類

△大正十年四月中到著の分……………三二

論

說

左記一文は法學博士松岡均平氏の所説なるか
参考とすへき點少からざるにより茲に抄録す

日支商業會議所設立の議

一、緒 論

商業會議所は一五九〇年の交、佛蘭西、馬耳塞港に創設せられ
爾來一七六八年には紐育に、一七八三年にはグラスゴーに各設
置せられ、方今に放ては各國重要都市に其設立を觀ざるもの殆
んど之れ無きに至り、其一國商工業發達上の職能は、極めて重
要を加へつゝあり。今や商業會議所は必ずしも國內に限らず外
國に在留する者が、其外國に於ける自國商工業上の利害を研究
する爲に之を設立するに至り、埃甸、佛、伊、英、蘭、米等の
諸國は、他國の領域に於て自國民より成る在外商業會議所を有
し、此の趨勢は最近更に顯著となれるを看る。

抑々在外商業會議所は、外國に於ける自國製品の模造、不法な
る商標の侵害等を迅速に發見し、所在地に於ける自國の貿易商
業海運工業等の發達を助長し、所在國に於ける自國及び自國民
の商工業的利益の保護並に兩國間の貿易を増進し、其他兩國間
の各種關係に當つて有力なる援助者となる如き重要な職能を
遂行するにあり。此の如き職能を有する在外商業會議所は、國
際經濟關係愈々發達するに伴ひ、益々切實に要求せられ、今日
列國が競うて自國と經濟關係の密接なる地方に、從來の經濟關

係保持、若くば増進の爲め、之が設立に急なるは蓋し當然の傾
向なりと謂ふべし。

在外商業會議所の始めて設立せられしは一八七〇年埃甸、國商人
の士都に在住するもの、コンスタンチノープルに自國人より成
る商業會議所を設けたるものを推すべく、其後埃甸國の在外商
業會議所は諸處に設立せられ、今日其數十二を算す。佛蘭西は埃
甸國の先例に倣ひ、而かも之を組織化して其の効果を收むるに
努め、即最近二十年間其の總領事館を商業會議所に變更せるも
の鮮からず、現に其の數三十に及び、倫敦、アントワープ、ブ
ラツセルス、シャルルロワ、シエネバ、バーセロナ、ミラン、
コンスタンチノープル、モントリール、紐育、ブエノスアイレス
モンテビデオ、アレキサンドリア、ヌミルナ、メキシコ等に在
るもの特に著名なり。英國は一八七二年巴里に英國人商業會議
所を設立し、歐洲大陸に於ける英國民の商權擁護に資せしこと
頗る大なりしが、以後多數在外商業會議所の設立を觀たるも、
殆ど全部は植民地に散在し、又其の多くは國際的商議機關たる
の性質を帶び、然らざるものは全く地方的範圍に局限さるゝを
常とし、埃甸國、佛蘭西の夫れの如く有效なるものと云ふを得
ず。獨逸に於ては一八八八年マンハイム商業會議所が在外商業
會議所の設立を要求し、翌年復た全國商業會議所聯合會は此の
要求を高調し、輿論の賛同を得たるも、獨逸政府は該問題に對
して冷淡なりし爲め、其の運動は一時中止の已むなきに至れり
然るに近時に至りバイエルンの國民自由黨は、再び在外商業會
議所の設立を提唱し、熱心なる運動の結果、遂ひに之が設立を
見るに至れり。然れども今尙は僅に二箇を算するのみにて、他
國に比し著しき懸隔あるも此は在外獨逸國民が他國の商業會議

所に參加し、之れに依りて少らざる効果を收めつゝあるに因るなくんばあらず。其他西班牙、和蘭、白耳義、合衆國等何れも在外商業會議所を有せざるはなしと雖も、吾國に於ては未だ外國（支那滿鮮を除く）に商業會議所を置く必要を感ずること少く從つて此れが設立を見ざりしが、最近米國にて日本人商業會議所設立の提唱せらるゝこと、世人の熟知するところの如く、又た外國人にして吾國に商業會議所を有するものは既に横濱に其の一例あり。支那亦た一九〇五年小呂宋に中華商務總會の設立を觀し以來、逐年其數を増加し、現在六十八に達し、主として南洋に散在し、合衆國、日本、朝鮮、滿洲、巴拿馬、墨西哥等にも基布せり。在外商業會議所の先進國たる佛蘭西に比し支那は尙二倍以上の在外商業會議所を有し、優に列強の群を抜けるは是れ支那に於ては由來同業組合の制度發達し、支那人の居住する處斯種制度は必ず形影相伴ふが爲めにして、他の列強に於けるが如く對外商業の發展に依る切實なる要求に出でたるものに非ざるは吾人の特に注目を要すべき點なりとす。

二、支那に於ける 歐米人商業會議所

支那に於ても通商關係の密接を加ふるに伴ひ、列強は商業會議所設立の必要を漸く感ずるに至り、先づ一八八八年支那最古の外國貿易港たる廣東に數箇の國民より成る商業會議所の設立を觀、次で一九〇四年には上海に伊太利人商業會議所の設立するあり、漢口、上海に數箇國より成る外國人商業會議所あり、天津、福州、芝罘、鎮江、汕頭、營口、大連にも英國人を主とする外國商業會議所あり、由是觀之、戰前支那に於て商業會所を有せし歐米諸國にては、英國を第一とし他の諸國は殆ど觀る

に足るものなしと謂ふべし。

敘上に依て察すれば、戰前支那に於ける歐米諸國の商業會議所は、國際的性質を帶び居たるも、戰亂の勃發に依り協商國と聯合國との敵對關係を發生し、從來の國際的性質を保持する能はざるに至りたる爲めか、若くは國民的商業會議所の成立を有利とし、若くは其の可能となりたる爲めか、兎に角一九一五年以來支那に於ては列強の國民的商業會議所の設立相繼ぐに至れり即ち一九一五年五月上海に英國人商業會議所、八月には上海に米國人商業會議所、越つて一九一六年には上海に佛國人商業會議所、更に一九一七年六月には上海に露國人商業會議所の續設を觀たり。更に最近外電の報道に據れば、獨逸亦戰後の對支經濟的施設として、自國人のみより成る商業會議所を支那に於て設立するの計畫ありと傳へらる、由是觀之、支那に於ける外國人商業會議所の趨勢は戰前の國際的協同より戰時戰後の國民的分裂に移り、又た戰前の不振少數より戰時戰後の勃興多數に進むに在るものと謂ひつべきなり。

三、支那に於ける 日本人商業會議所

戰前支那に於ける日本人の商業會議所及び實業協會は、支那本部に於ては上海、漢口、天津、北京、青島の五箇處、滿洲に於ては大連、奉天、長春、遼陽、營口、安東縣の六箇處、合計十一箇處を算し、種々支那滿洲に於ける我商工業的利益の保護増進に努めつゝありたるも、未だ商業會議所に進めるものは支那本部に於ては僅に天津あるのみにて、他は未だ所謂實業協會の地位に在り。滿洲に於ては其活動稍々觀るべきものあるも、支那本部に至りては未だ其の活動は十分なりと謂ふ能はず。殊に

之を歐米諸國の在支商業會議所の活動並に重要な日支經濟關係の要求に比せんか、一層其の然る所以を痛切に感ぜずんはあらざるなり。他の列強が夫々國民的商業會議所を新設し、潑刺たる銳氣を以て支那市場に活躍せんとする秋に當りて、我が在支商業會議所亦決して舊套を固守すべきにあらず、何等か此れが發展の方策を講究して以て時世の要求に應ずべきなり。之に對しては種々の方策の施すべきものあるべきが、内外官民の同心協力を要するや明かなり。今二三の方策を提出して、識者の正を仰がんと欲するものあり。

(一)在支商業會議所相互の聯絡を密接にすること。滿洲商業會議所並に實業團體は、朝鮮商業會議所並に實業團體と、曩に一九一三年十月滿鮮聯合會を開催し、滿鮮經濟關係の聯合等に關し、重要な協議を逐けしことあり。其後久しく中絶したるも最近再び滿鮮商業會議所聯合會を組織し、大連及京城に事務所を置き商業會議所の任務に關する事項を審議し、其の可決事項の實行を圖るの計畫熟し、第一回の大會を來る九月大連に開催せんとすと傳へらる。然れども未だ在滿各商業會議所並に實業團體の聯絡を密接ならしむべき組織存在せざるが如く、將來滿鮮商業會議所聯合と共に、滿洲商業會議所聯絡を密邇ならしむること刻下の急務ならん歟。

次に支那本部に於ける日本人商業會議所並に之と同様の目的を以て組織せられたる實業協會の聯絡を觀るに滿洲に比し一層不満足なるものあり。曩に一九一六年九月に至り漸く上海日本人實業協會の主唱に依りて、在支日本人商業會議所聯合會なるもの成立せられ、滿洲商業會議所並に實業團體も之に加盟し、各會共通の利害問題に關し統一ある行動を採る事となり、茲に相

互の聯絡は完成せるが如くなるも其の後同會の事業として特に顯著なるものあるを聴かざるなり。
由是觀之、我が在支商業會議所團體は、將來更に其の相互の聯絡を完成し、其の職能を發揮するに努むべきなり。

(二)内地商業會議所との聯絡を密接にすること。内地商業會議所と我が在支商業會議所との聯絡を密接ならしむべき前提としては、先づ内地商業會議所相互の聯絡を密接にすること必要にして是れ夙に我が識者間に於ても提唱せらるゝ處なるが未だ部分的聯絡の漸く實現せるのみにて、一般的聯絡の協定に至りては未だ前途遼遠の感なくんば非ず。遮莫我が在支商業會議所は我が對支經濟關係に就て地方的にも、且つ一般的にも、内地商業會議所と聯絡を緊密にすることに依りて、一層其の職能を完全に發揮し、其の活動を有效ならしむるを得べきこと明なり。現在此點に關しては極めて不満足なるものあるも、將來之が改善を圖るの必要益々大にして、之が爲には佛蘭西に於て、其の在外商業會議所に對して國庫より若干の補助金を與へ、且つ一九〇七年以降巴里に聯合會を組織し、相互の連絡を取りつゝあるに鑒み吾國に於ても之に倣ひ、内外商業會議所の聯絡を促進するは官民刻下の急務とする處に非ざるなき乎。

四、日支商業會議所の設立

イ、國際商業會議所設立の傾向

茲に吾人の所謂國際商業會議所とは、從來の如き二箇以上の同列的通商國民の組織するものを指すに非ずして、二箇の對立的通商國民が組織するものを謂ふ。其の相互關係より觀れば、發動的地位にある國民と受動的地位にある國民との聯合組織するものにして、其れが兩國の通商關係を促進するに效益あること

從來の國民的、又は同列的國際商業會議所の比にあらざるなり此の如き傾向は近年漸く顯著にして、此の制度は戦後の商業政策として、列強に採用せらるゝの兆候なくんばあらず、此の實例としては曩に一九〇八年英露商業會議所設立せられ、著々其の實效を奏せしを推すべく、其後佛、白、瑞、米、丁、日の商工業者も、露國人と聯合して夫々商業會議所を設立し、若くは計畫するに至りたり。又最近外電の報道に據れば、戦後米佛貿易發展且又獨逸の經濟的侵潤に備ふる爲め、兩國關係者は、米佛商業會議所を紐育に設置せりと傳へらる。吾人は此種の商業會議所の普及を以て、最近の顯著なる傾向と見做さんとするものなり。

ロ、日支商業會議所設立の理由

斯種國際商業會議所の設立は、露國に於て最も古く且つ最も盛に觀る處にして、此の趨勢は最近米國にも波及したること前述の如くなるが、更に支那に於ても其萌芽を認むるを得。即ち一九一七年春支那に來たれる米國商業團は、上海、漢口、北京、天津等各重要市埠を沿く視察したる結果、該團長ロース氏と北京商會聯合會代表者との間に、支米國際商業會議所組織の議纏り、ロース氏は之を米國各商業會議所に照會し、又北京商會聯合會に於ては、夫々各地商會に交渉し、其の一致賛成の答覆の至るを待ち、更に組織上の具體的成案に就き協定すべく傳へられたり。其後の成行は之を知るの材料を有せざるも此は日本の對支政策上切迫せる教訓を垂るゝものに非ざるかを、夙に考慮せり。余は後述するが如き日支商業會議所の設立を日支官民に慫慂するに當りて、其數箇の利益を舉示せむ。

A、支那官民との聯絡を密接ならしむることを得

B、内外に在る日本人及び支那人商業會議所相互の聯絡を密接ならしむることを得

C、日支相互の經濟事情の調査研究を便にし、經濟的接近を促進することを得

D、支那に於ては近時國民的自覺漸く旺盛に且つ排日思想熾烈なるを以て政府は殊更に強硬の態度を持し、對外軟の非難を避くるに專なり、故に外交關係即ち在外公館の手を経て、正式に交渉を爲すが如きは最も拙劣なる下策とし、此時一般支那國民の自負心を害せざる程度に、支那人民を経て支那同業者の意見として、彼自ら或事項を提議せしむるか或は日支商業會議所又は其會員の意見として發表せしめて以て輿論の喚起に努め、比較的容易に所期の目的を達するは最も巧妙なる方策なること。

ハ、日支商業會議所の内容

日支商業會議所の具體的内容に就ては、種々の要求あるべけんも、余は便宜上英露商業會議所の組織に準じて、二三の要點を敘記せむと欲す。

(一)支那農商總長の直接監督の下に置くこと。

斯くするとき同會議所は農商總長の直接監督の下に在る施設なるを以て同會議所附屬の調査部員は支那人たると日本人たるを問はず、其の主務官廳たる農商部は勿論。其他支那政府の諸官衙に自由に出入するの便宜あり。

(二)會員には日支兩國の議員、實業家、在野政治家等を網羅すること。由來支那に於ては他の文明國の如く産業に關する調査其他諸般の組織猶甚だ幼稚なる時代にあるが爲め、此等他方面の會員、通信員、銀行、官廳、公共團體と密接なる聯絡を保持

するとき、國內各地に互り比較的正確なる材料を蒐集すること至便なり。

(三)其の事業としては (イ)日支の内地商業會議所及び日支の在外商業會議所と密接なる聯絡を保ち、必要なる報告を交換するのみならず、尙ほ場合に依りては、兩國間の商業發達の爲め協同動作を行ふこと。

(ロ)會員又は其他の者が前記の事業に従事せんとする場合に、相當の援助を與ふること (ハ)兩國商工業に關する統計及現況等の報告書類を蒐集、交換、整理若くは配布し、且つ時時報告書又は特別調査書を刊行すること (ニ)兩國商工業に關する會員又は其他の者の意見の交換發表を援け、必要に應じ各商工業地に於て講演會、會議、實地調査又は視察を行ふこと (ホ)展覽會、博覽會、特殊圖書館等の經營 (ヘ)兩國間の經濟的關係を密接ならしめ、且つ通商上の種々なる障礙を除く爲め、政府其他の公共團體に對し必要なる措置を執ること等なり。

五、結 論

余は本稿を終らんとするに當り、偶々大阪毎日新聞の一報道に接せるが、之に據れば大阪商業會議所の發起に依り日支の親善を圖り、相互貿易の發展を目的とする日華實業協會設立の計畫漸く熟し、阪神の日支實業家を糾合して、近く成立を見んとするが如く、其の成立の上は貿易並に企業に關する調査を眼目として活動すべしと傳へらる。余は右日華實業協會の内容に關し、此の上詳細なる事情を聞知せずと雖余の提唱せんとする日支商業會議所と多少同性質の企畫に非ざるなきかを想ふ。我國に於ても此種思潮の湧起し、既に實行の域に入らんとするを見て愉快の念に耐へざる所なり。

終に蒞んで敍上の所見を摘約すれば (一)近時在外商業會議所の職能重大となれること (二)從て我が在支商業會議所の發達を重要とすること (三)近時對立的國際商業會議所勃興の新機運あること (四)從て支那に於て日支商業會議所を設立するの急務なることの四項に歸結せらる。然り而して東洋の地は今幸にして小康を保つと雖、戰後經濟戰の波瀾は東漸して極東の天地は多事なるべく、此間に於て日支兩國の親善關係を一層安固ならしむるには、經濟的提携を行はざるへからず。而して此實行を期する爲めには、種々の方策之れ有りと雖、日支商業會議所を特設して支那の爲めに利源を開發するも亦一策たるを失はずと信ず。今米支國際商會設立の議傳へらるる秋に當りて、此の趨勢を洞察して日支商業會議所の設立を促進するは余の提議を俟たずして、刻下の急務たること明かなり、英露商業會議所の設立に臨み、英國外務次官ロバート・セシル卿は、首相アスキス氏の代理として、一場の祝辭を述べて曰く、

英露聯合商業會議所の設立は、英露同盟の賜の一なり(中略)英露兩國の誤解は一つの惡夢にして、今や幸にして斯る惡夢は消散せり、兩國の現狀は正に事情の必要とする所を充して餘りなし、兩國相互の前途の幸福は二國の結合よりして之れを求むるを得べし、英國諸會社は宜しく露國に代表者を置かざるべからず、英國商業は政府間の關係以外に露國に商業關係を設立せざるべからず、通商の大事業は政府及び個人の努力を更に鞏固に増進せしめ、且つ相互の關係を一層密接ならしむるにあり。

と、日支經濟提携の實を擧ぐるに當りては日華博覽會の如き一時的施設を以て満足する事なく其効果を確保し、更に經濟關係

を密接ならしむる爲め、日支商業會議所の設立を要望するものなり。

資 料

青島の石材

△概言、石材は建築材料中木材に亞ぐ必需品にして其用途頗る宏く既に腰石、外壁、柱、階段、敷石等に使用せられ或は實用方面より或は美術的方面より珍重せられつゝあるの狀態にして將來其加工術並に建築術の進歩に従ひ益々需要範圍を擴大せられんとするの傾向を生じ各方面に於ける石材產地事情並に品質運搬の便否等は漸く世人の注目を惹くに至れり從來山東省内の石材產地としては青島の外に石島、威海衛方面を數ふれども石質概して良好ならず獨り青島附近產出材に於て稍見るべきものあり今其概況を記して參考に資せんとす青島は山東省の一角に位せる貿易港なるも其附近一帯は岩層厚く最も石質に富み殊に東方に聳立せる嶗山の如きは全山悉く花崗石を以て作られたる觀あり其中間浮山、孤山及沙子口一帯の地は至る所に良質なる花崗の大石塊點在し人工を勞する事尠なくして容易に採取し得らるゝ事到底他地方の比に非ず石量亦豊富なるを以て青島開港當時獨人は特に之を築港、護岸、建築の各方面に互り頗る潤澤に使用せる事は一度青島を見たる人の首肯する處なるが未だ其幾分をも消化せらるゝに至らず越て日獨戰後邦人建築の初期に當りては之等の石材は支那人の自由採取に委し毫も顧みられざるの模様なりしが漸次建築界の盛況と共に其價格漸騰するに及び邦人にして茲に注目するものあり官廳亦之が取締の必要を感じ各

個に採取區域を限定し一々採取許可を與ふるの方針を採りたるを以て遽かに面目を一新し稍秩序的發展を見るに至れり大正六年後半期より同七、八兩年に互り青島の土木建築界は未曾有の盛況を告げ莫大なる石材の需要を呼び道路の改修新設及小港護岸工事其他諸般の建築悉く之を使用せざるは無く其旺盛時に當り各產地より陸路或は戎克により青島に輸入せらるゝ石材は月額約六、七萬才の多きに上り其價格は總建築費の二割七八分を占め木材の三割五分に對し大差無き狀態を示すに至れり斯の如き需要の盛況は勢ひ石材業者の勃興を促し殊に權利熱高潮時代なりしを以て邦人及支人にして石材採取許可を出願すもの續出し青島の對岸紅石崖、辟家島方面に於ても幾多新採取場の發見せらるゝあり益々前途の盛況を想見せしめしが紅石崖辟家島方面の產出材は概ね石質粗惡にして建築材料としては不適當なりとの評を受け依然沙子口方面產出材の需要を旺盛ならしめたり同地方一帯の產出材は石質緻密堅實なるのみならず良品は白色の斷面に淡紅色の斑點を現はし外觀頗る美麗なるを以て特に窓臺柱材の如き裝飾的方面に歡迎せられ常に需要に迫はるゝの盛況を持續し價格も才一圓五錢の高値を現はせし事あり越て八年三月信國商會は青島を去る一里半の地點出家村に一大石塊を發見し採取に著手せしが其露出面のみを測定するも尙三十間四方に互り地下の埋没面積は殆んど推定し難き良質材にして如何なる長尺物と雖も自由に採取し得らるゝのみならず青島石材界の缺點とする多量の石材に對し石質色相を同一ならしむる點に於て他の企及し能はざる特長あり殊に其採取場は青島に接近し搬出容易なりしかば夥しき需要を喚起し現に同所產出石材を加工せるものに青島神社大鳥居あり同所燈籠階段等あり其他各建築

物に在りても多量の石材を使用する場合大部分同所産出材によるの傾向を生じ沙子口、南窟、浮山後、田家村の各採取場は頗る殷盛を極めしが昨九年建築界の不況に伴隨して需要遽かに減退し亦當日の盛況無く市況沈衰の極に達せしを以て小資本石材業者は全く終熄し昨今邦人福昌公司並に信國商會の兩者が僅かに採取を繼續し居るに過ぎず

△產地事情、青島附近に於ける石材は前述の如く沙子口、浮山一帶の地方所々に點在せる大石塊を加工するものにして比較的石塊の集合せる部分を選定し採取許可を得たるものなれば各產地毎に特に異なりたる事情の存する事無しと雖ども石質、色相並に運搬の便否等多少の相異なるを免かれず從來青島市場に現はれたる石材を見るに山東頭、浮山後の産を最も良質とし南窟は石量の豊富を以て著名なり今之を各產地毎に小言せん

山東頭、浮山後、福昌公司の經營に係り常に數十人の石工を使用し採取に従事せしむ其採取面積擴大ならざるも石質緻密にして白色中に淡紅色並に黒色の斑點を有し外觀頗る美麗なるを以て窓臺、柱材等裝飾用に歡迎使用せらる最近福昌公司是本材を加工し營業用臺を作製せしが頗る好評を博し將來此種裝飾方面の用材として相當販路の擴張を見るに至るべく囑望せらるるされど餘りに長尺物を産せず最長十四五尺止りとす

青山、前同様福昌公司の經營に係り石質浮山後産に比すれば稍粗なるも建築材料として好適せる事沙子口産に似たり色相淡暗色を帶べるも石量豊富にして地上に點々露出せるを以て採取容易なるのみならず海岸に位置し海路戎克により容易に青島に搬出せらるゝの便あり十七八尺より二十尺位の長尺物を採取する事容易なり

沙子口、此附近一帶の石材は獨逸時代より旺んに支那人の手により採取搬出せられたるものにして戰前に於ける青島建築界は本材に負ふ所頗る大なり現に舞鶴灣一帶の護岸並に司令部、民政署の諸建築物は悉く本材より成れるものゝ如く從て沙子口材の名稱は青山、南窟沙子口一帶の代表的名稱となり石質、色相亦甚だ類似せるものあり戰後支那人の共同經營により多量の石材を供給せしが新たに田家村材の出廻旺盛に續いて建築界不況時代に入り昨今殆んど作業休止の状態に在り石質色相青山材と均しく間々淡紅色に黒の斑點を帶ぶるもの及淡紅に淡暗色を加へたるものを産し建築材として好適せり

南窟、沙子口灣の東方に突出せる一角に位せる採取場にして福昌公司の經營に係り採取面積の廣大なる石量の豊富なる海路輸送の至便なる蓋し青島附近産地中第一なるべし石質色相共沙子口青山産に同じく採取亦甚だ容易なるを以て一ヶ年二十萬才位の需要に應ずるも尙餘裕を存じ將來大に囑望せられつゝあり田家村、前記各採取場の石材は悉く地上に其大部分を露出し點在せる石塊を加工するものなれども當所は地下に埋没せる一箇の大石塊を採取する目的を以て大正八年三月信國商會が採取許可を出願せるものにして地上露出面積約百餘坪に互り石塊優れて大に石質亦沙子口産に劣らず如何なる長尺物をも自由に採取し得らるゝ事に於て一頭地を抜き居たるのみならず多量の需要に對し一定せる色相のものを供給し得らるゝの特長あり殊に採取の初期に當り恰かも青島建築界の最盛況時に遭遇せるを以て各方面に互り期せずして多大の需要を喚起したるは今尙記憶に新たなる所にして現に本材を使用せるものに東萊銀行あり青島神社階段及大島居等の大建築物ありて青島建築界に貢獻せる

處尠少に非ず田家村は青島を距る事僅かに邦里一里半に過ぎずして各產地中最も運搬の便あり比較的多量の供給能力を有せしが僅に一ヶ年餘にして其大部分を採取し盡したれば將來多くを期待せられず

浮山、支那人の合同經營に係り採取石量多からざるも石質沙子口に類似し淡暗色を帶び建築用材として適當せり本產地の石材も前記田家村と同じく地下に埋没せるものを加工採取するものなれば多少の爆發藥を使用せり

大麥島、信國商會は田家村の石材の大部分を採り盡したるを以て他に適當の採取場を物色しつゝありしが遂に大麥島に良質石材を發見採取許可を受くるに至りたるも既に建築界不況時に入りたれば未だ採取を開始するに至らず

對岸地方、建築界の盛況時に當り青島の對岸紅石崖、薛家島地方に於て幾多の石材産地を發見採取許可を出願せるものありしが石質粗雜にして建築用として不適當の評あり道路敷石用として僅かに採取せられしが幾莫もなく沙子口材に押されて採取を中止するに至れり

以上列記せる箇所は青島附近に於ける石材の産地として著はれたる所にして現在採取を續けつゝあるは福昌公司經營の南窟及沙子口の二箇所位に過ぎず其他は建築界不況と同時に悉く休止の姿にあれど之を一般的に觀察すれば石量尙豊富にして隨時採取の可能性を有し需要の如何によりては年額百萬才位の供給を爲す事容易なりされど青島附近産出材の缺點とも見るべきは悉く地上に點在せる數箇の石塊なるを以て品質色相を異にし多量の同色同質材を集むるには相當の苦心を要すと云ふ

△採取業者並採取法、青島附近は頗る石質に富み至る所石材産

地たる如き觀あり建築界の盛況に伴れ石材需要の旺盛時に當りては之が採取許可を受けたるもの十數人の多きに上り戎克又は陸路大小車、馬車等を以て青島に運搬し來りたるもの毎日數萬才の多きに達せしが昨年建築界の不況と共に休業者續出し現在採取を繼續しつゝあるもの邦人福昌公司、信國商會の二者あるに過ぎず而も其採取量は何れも微々たるものにして福昌は最近天津方面の輸出に力を注ぎつゝあるも支那人側の如きに至りては請負業者にして單に採取場を所有せりと云ふに過ぎずして必要に應じ時々採取使用しつゝあるに過ぎず現在青島に於ける石材採取業者として掲ぐべきものは左記の數者に過ぎず

輕藻町 福昌公司 採取場 浮山後、山東頭、青山、南窟

瀨戸町 信國商會 同 田家村、大麥島

金郷町 協 順 興

平度町 辛 成 善

芝罘町 公 和 興

此外五六の小資本支那人團體あり數人合同して採取に従事しつゝありしが何れも採取石量微々たるものにして建築界の不況と共に悉く休止せり之等は畢竟將來と雖ども青島附近の需要に應じ得るに過ぎずして其以上を期待し難き事情に在り

採取法、青島附近一帶より産出する石材は山岳又は地下に埋没せる岩盤を穿鑿するに非ずして地上に點在せる大石塊を採取するものなるを以て其方法極めて簡易なるのみならず比較的僅少の勞力を以て多量の石材を採取する事を得べく現在の産地中爆發藥を使用せるは田家村並に浮山の二ヶ所あるのみにして他は悉く石矢を使用し大小適宜に分割加工せらるゝものなれば最も僅少の採取費用を以て足る事也に其比を見ず殊に山東省一體

は由來工賃の低廉を以て有名なる處にして石材採取費用の如き普通品一才平均少きは銀五六錢より多きも二十四五錢を出でず而して青島市場への運搬は海路戎克輸送の可能なる場所多く才銀十五錢を以て足り陸路荷馬車等により搬入を要する場所と雖ども近きは十二錢より遠きも三十錢を越ゆるものなし然れど特種材たる長尺物或は大角物等に至りては採取上相當苦心を要すべく運搬も亦他の小石材に比し至難なるものありて一定せずと雖ども比較的安價を以て供給し得らるべきは毫も疑を容れざる所なり當港附近に於ける各產地事情は前記の如く採取甚だ容易なるを以て道路用敷石等尺度の一定せるものゝ外各建築用材の如きは需要を俟て始めて採取に着手するを通例とし採取は全部把頭に一任せり福昌公司の如きも亦此方法により注文に應じ石質尺度箇數等を產地の把頭に通知すれば把頭は其通知に従ひ之に適合せるものを切出すものにして其他採取に關する一切の事務を總括せしめ時々邦人事務員を派して採取狀態及殘存石材狀態等を調査し把頭との間に事務の打合を爲さしむるに過ぎず故に従業人員の如きも事業の繁閑に準し把頭の權限内に於て自由に増減する事を得るものにして之等の把頭は何時にても必要に應じ數百人の工夫を叫合し得る丈の勢力を有せり従業人員は全部支那人を使用し十五人或は二十人を一團として石屋と稱する假小屋に住居せしむ賃銀は總て請負制度とし產地に於ける把頭は傭主の注文により石材を選定し才何錢として部下の小把頭に請負はしむるものにして建築材は主に割抜きの儘需要地に搬出するも道路敷石の如きは凡產地に於て荒切加工を施したる上搬出するを通例とす

△搬出並加工、石材の如き重量ある貨物の搬出は事業經營上最

も重要視せらるべきものにして其便否は直に產地價値の輕重に關する事あり青島附近石材產地は此點に於て殊に天恵に浴するものにして即ち沙子口、青山、南窟の各主要產地は海邊に位し海路戎克により比較的安價なる運賃を以て青島市場に輸送せらるゝのみならず其輸送能力は戎克供給の潤澤並に小港護岸の完成と相俟つて益強大せり陸運によるものは荷馬車或は大車及馬背等により搬出せらるゝを以て海運に比すれば輸送力薄く運賃亦高價なれども田家村は青島を距る僅かに一里半に過ぎずして荷馬車に據るも尙才十二錢の運賃を以て青島に到着し山東頭、浮山後は才三十錢を要するも品質の優良なる點に於て他材と拮抗する事を得るの特點あり獨り浮山產地は稍遠距離にして採取搬出共に他地方に比し困難の感あり品質亦平凡なるを以て石材相場の高潮時に於てさへも他材に壓倒せられ賣行極めて寥々たり今各產地より青島に至る運賃を示せば左の如し

△海路戎克によるもの

產地	產地より里數	運搬法	運搬賃
沙子口	五里	戎克	才銀十五錢
青山	六里	同	同同十五錢
南窟	五里半	同	同同十五錢
田家村	一里半	荷馬車 或ハ大車	同同十二錢
浮山	三里半	同	同同二十五錢
山東頭	四里	同	同同三十錢
浮山後	四里	同	同同三十錢
加工法、石材加工として一般に用ひらるゝものを荒物並仕上とす、荒切は產地に於て割抜の儘搬出し來れる石材を所用の太さに従ひ粗製せらるゝものにして普通一般に使用せらるゝ建築			

材料は此粗製品に對し更に仕上加工を施したるものなり道路敷石等は氏荒切の儘使用せらるゝもの多し仕上加工中一般に用ひらるゝものを小町とす

小町は一度荒切せられたる石面を更に鐵槌を以て町き平面に仕上たるものにして柱、窓臺、階段石、其他一切の建築材料並に裝飾材は此方法により加工せられたるもの多く最も一般的に應用せらる

簾切は一度荒切せられたる石面を更に細く簾形の筋を刻み平面に仕上たるものにして尺間十本より多きは五十本位のものあり筋間荒きものは主として階段、敷石等に使用せらるゝも細密に仕上られたるものは小町と同様に使用せられ特に柱及建築物の外面部に現はるゝ場所に裝飾的に使用せらるゝを見る

磨きとは一度小町させる石面を平滑に磨き上げたるものにして洗面臺營業臺等の裝飾方面に使用せられ間々神社の手洗石に加工せられたるを見る

本磨き前者を更に特種の技術により平滑に仕上たるものにして石面の光澤ある事恰かも大理石加工品に似て更に一層美麗なるものなり而も當地山東頭、浮山後産花崗石の如き白石に紅黒の班點を錯雜に交へたるものに加工せるものを見るに頗る美術的にして到底單純なる大理石材の及ぶ所に非ず本加工は主として美術裝飾の方面に應用せらるゝものにして營業臺、洗面臺、鏡臺其他一般の應用方面最も廣かるべく本加工にして發達するに於ては將來大理石代用として需要の盛況を見るに至るべく殊に當地良質材に於て其最も好適せるを見る

青島に於ける加工賃銀は普通品才銀五六十錢位なるも少しく念入の仕上を要するものにして日本職工を使用せらるゝ場合は

才銀二元以内の加工賃を要すべし現在青島に於ける石工賃銀は支那人一日銀六十錢より七十五錢日本人銀三元位とす

次に青島に於ける建築物並に加工品の概況を見るに獨逸時代の建築物にして最も多く石材を使用せられたるは大港の建設工事にして次に舞鶴濱一帶の護岸工事を推すべし又家屋としては司令部、民政署の大建築物あり何れも沙口産花崗石を使用せられたるものゝ如し日本の占有後に於て建造に係る諸建築物中最も多量の石材を使用せられたるは小港の改造並に青島神社、忠魂碑等を數ふべく建物に在りては正金銀行、東萊銀行、朝鮮銀行、中國銀行、魚菜市場等稍見るに足るものあり又現在建築工事中の鈴木商店の大石柱は正金銀行の石柱と同じく浮山後産の良質石材を加工せられたるものにして共に出色の加工品たるを失はず青島石材界の誇りとする所たり

△青島に於ける石材需要狀態 獨逸時代は勿論日本占有後と雖も青島は尙未だ發展膨脹の道程に在りたるを以て市中に夥しき需要を喚起し大正七年頭初より同九年初頃迄建築界の旺盛期間相場は別表の如く遂月昂進の狀態を示し各產地共に極度の繁忙を極めしを以て未だ想を輸出に致したる事無かりしが大正九年四月以降の不況に従ひ市中の需要は全然閉塞し悉く採取を中止するの悲境に陥りたるを以て此窮境を救ふ一方低廉にして豊富なる青島石材を紹介せん目的の下と曩に福昌公司により天津輸出を企てられたる事ありしが時期を得ざりし爲僅かに數十噸を輸出せしのみにして沈黙し最近指を上海方面の輸出に染めんとし種々畫策する所ありと聞けり青島に於ける石材相場が天津、上海兩市場に比し非常に低廉なるは事實なるも本品の如き非常の重量を有する貨物の輸出は一に運賃問題により決定せらるべ

11

貿易

青島貿易概況 (三月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は三萬二千四百四十八噸三船積(輸出)八萬八百六十四噸一を示し前月に比すれば輸入に於て千二百四噸五輸出に於て一萬四千五百四十六噸四の激増を現はし之を昨年同期に比するに輸入に於て四千七百九十四噸九を減せるも輸出は一萬七千七百七十三噸三の激増を現はせるは主として鐵鑛の積出増加に基因するものにして其他貨物と雖も牛肉鹽葉煙草の三品を除くの外は悉く幾分の増加を示せる事別表の如し今前月及昨年同期との比較を示せば左の如し

陸揚傳物 船積貨物 計	二月	三月	昨年三月	この比較
	三、二四三八	三、四八三三	三、七四三三	四、七九四九
六、三三七七	六、八四六一	六、三六九八	一、七二五三	
九、七、五二五	一、三三、二四	一、〇〇、九三〇	二、三、六四	

尙其仕出仕向地別を昨年同期と比較對照するに大阪仕向貨物は桐材、鶏卵の好況により五千八百五十四噸を算し神戸も亦本月は落花生實の仕向により珍らしく八千九百餘噸の積出しを見たるが横濱はコークス、花生仁、鹽の輸出不振により昨年に比し三千百餘噸の減退を示し若松は鹽の積出し減退と共に悲慘の記録を止め其他日本各地共多少の減退を示さるゝは無き中に獨り八幡は鐵鑛の積出増により一萬七千噸の増加を示すに至れり輸入貨物に在りては日本並に大連方面より來る金建貨物は銀價の暴落により採算頗る不利に陥れる結果何れも多少の減退を示さざるは無く其反動的現象として上海並香港は依然各貨の上に好

況を齎らし殊に綿糸布、砂糖、支那紙、竹材、等の増加により本月中上海より一萬三千二百五十七噸二香港より三千三百六噸五の輸入貨を見たり

仕出、仕向地	船積貨物		陸揚貨物	
	本年三月	前年三月	本年三月	前年三月
大 阪	五、八五四〇	三、九二六	三、九六四	五、八二六
神 戶	八、〇三三	七、四八四	二、三三四	二、五三四
門 司	二、八五四	一、五〇三	一、八三八	二、八三二
横 濱	六、四八二	六、三三九	七、五	五、〇
德 山	三、九八五〇	四、八七〇	四、九〇	六、八〇
若 松	一、一六〇〇	一、一六〇〇	七、六八	一、〇六〇
八 幡	三、四〇〇	六、四二八	一、三九五	六、四〇五
其 他 日 本	四、〇四二	九、八六	六、五九	四、四八
仁 川	五、八九	一、三三六	一、九〇〇	一、九〇〇
釜 山	二、四九一	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇
其 他 朝 鮮	一、七三	一、七三	〇、三	二、九
基 隆	一、七三	一、七三	〇、三	二、九
打 狗	一、四五六	一、八五三	一、二六九	五、七六二
大 連	一、〇〇七四	九、三七五	一、三三三	七、四〇三
上 海	五、九四	六、五四九	六、三	一、〇
芝 罘	三、〇二	六、三三四	〇、二	〇、二
天 津	二、七五〇	一、六八四	一、三四六	一、二二
其 他 支 那 港	五、三三八	一、六五六	三、三〇五	一、二九七
香 港	三、三六	三、〇二	五、八四	五、八四
浦 鹽	一、五〇二	二、六四	一、九〇五	一、九〇五
マ ニ ラ	一、六四〇	一、六四〇	三、三三三	三、三三三
其 他 外 國	六、三六〇	六、三六〇	三、三三三	三、三三三
合 計	六、八四一	六、三六〇	三、三三三	三、三三三

主要輸出入貨物情勢 (三月)

本月の統計に現はれたる輸出貨物の激増は鐵鑛の積出増加が其主因たる事勿論なりと雖ども前月來山東炭の上海並本邦仕向の

盛況を持続せるを見逃す能はざると同時に鶏卵、桐材、骨粉、牛脂、コークス等も相當活氣を呈し殊に久敷不況裡に呻吟せし當港輸出大宗貨物たる花生實及同油が米國方面の入注により遽に擡頭し本月中生實九千九百七十五噸六生油千八百六十二噸四の輸出を示すに至れるは當港輸出貿易上聊か愁眉を開くに足るべしされど鹽は日本政府納鹽關係上又往年の盛況無く葉煙草は前年經濟界不況の影響を受けて一般購買力減退貯葉僅少なりし爲め收穫期を遠かるに従ひて漸減し本月中僅かに四百七十七噸九の輸出を見るに過ぎざりしは是非なしとす輸入貨物は銀安の關係上一般に銀建物の輸入を旺盛ならしめたと同時に金建輸入貨物は一般に反動的打撃を蒙りたる中に日本等炭、精製糖、木材、綿糸、燐寸等の日本品及大連方面より輸入せらるゝ諸品最も甚だしく就中日本炭は内地船運界の不況に伴れ運賃安となりたるも炭況日々惡化し來りたる爲め當地炭價と拮抗する能はず最近バンカー方面も亦山東炭の活躍に遇ひ全く終熄するの止むなきに至れり砂糖は矢張銀安の關係上内地市況始終高唱へにて相場出合はず却て香港糖の輸入を助長しめたる感あり綿糸も亦此例に漏れずして上海糸の輸入を増加せしめたる傾きあり

△輸出貨物

品名	二月中	三月中	昨年 三月中	昨年と本年 との比較
生牛	一五五	七三五	一〇九五	△ 三六〇
落花生實	五、九五五	九、九七五	七、三三三	〇 二、六四二
牛肉	二、〇七九	九、五三九	一、四二九	△ 二、九〇〇
鵝卵	一、六二九	四、三六〇	三、七七七	〇 四、〇八三
鹽	一〇、九五〇	一三、五八三	一七、三三七	△ 三、六四四
葉煙草	三、四四四	四、七九九	四、五三六	△ 四、〇四七
骨粉	三、〇一七	五、〇六六	二、九六二	〇 二、六四四

△輸入貨物

品名	二月中	三月中	昨年 三月中	昨年と本年 との比較
牛脂	六、九七	二、九四八	四、〇八八	△ 一、四四〇
落花生油	二、六三八	一、八六二	一、六四八	〇 二、二三八
牛油	一、〇八三	六、六三二	三、四三二	〇 三、七三〇
牛	一、八九五七	二、二五九〇	一、〇三三七	〇 二、九三三
溜川炭	五、七三六	四、〇九六	一、五八	〇 三、九七八
博山炭	一、〇〇三	二、三六三	四、八五	〇 七、七八
桐材	一、五二〇	二、三〇四	一、五九九	〇 七、七五
鐵鑛	八、八〇〇	一、九五〇	六、五〇〇	〇 三、三〇〇
米	六、九九	一、三四二	三、四九七	〇 九、九三七
高粱	一、三三七	四、二〇	一、八七六	△ 一、四五一
白糖	四、六三七	一、〇八二	一、〇四六	〇 五、三六
赤砂	一、四三〇	六、八九	五、一六	〇 一、三七三
卷煙	九、六二五	九、九三	一、〇六九	△ 八、八六
石油	九、〇二七	七、七一	一、	〇 七、七九
葉品	三、五七七	五、六三	四、五二六	〇 六、三七
綿絲	八、六〇	三、九三	一、一六八	〇 一、九四五
綿布	九、三三四	九、四三四	一、〇九四	△ 六、六〇
麻袋	四、七二	六、四二〇	一、〇七〇	〇 五、五五〇
洋雜貨	四、八九七	八、五七一	三、六六〇	〇 四、八二
支那紙	一、四八三	二、二六五	一、五四五	〇 七、三〇
日本炭	一、五四〇	七、七〇	一、〇五〇	△ 三、〇四〇
セメント	一、八四	三、四〇九	七、九二	〇 三、六八三
鑛(古共)	八、九八	二、八五六	二、〇二四	〇 八、一三
竹材	一、六八四	二、二八七	一、〇四五	〇 一、七〇二
木材	二、〇三〇	三、九七五	一、〇七四	△ 六、七四九
燐寸材料	六、三七六	四、四七〇	六、七四〇	△ 二、三七〇

民船貿易 (三月)

本月の民船貿易は舊正明後の活況を示して各貨共前月に比し數倍の激増を現はせるが就中玉蜀黍二萬二千十三擔高粱二萬千八

百八十五擔小麥二萬六十三擔を始めとし花生仁の如きも久方振りに輸出の好況を迎へて港外より八萬六千四百六十三擔港内より四萬一千九百六十三擔の移入を呼ひ豆粕は葉煙草施肥の準備期に入り其他竹稈、木材、支那紙何れも好況を示せるが鶏卵は市中在荷夥多と濟南物に押されて稍減少せり移出貨物は石炭港外千四百七噸港内送り千九百五十八噸花生油六千百十二擔鮮菜三千三百二十九擔核桃千八百三十六擔の外瓜子、豆油、蓆、石炭の各貨を數ふるに過ぎず港内運輸貨物中に在りては鹽の春期出廻時期を扣へて漸く増加し花生仁、花生油、牛骨の輸出好況により稍活況を示せるを見る本月移出入各貨を前月分と比較すれば左の如し(單位擔)

△移入品

品目	二月中	三月中	品目	二月中	三月中
竹稈	八〇三五	一〇、七六	麻	七三	一、二六
豆粕	—	三、五九	麥粉	八〇	五、五九
白黃豆	三六	一〇〇	花生仁	三、八九	六、四三
高粱	三、四三	二、八五	各種蓆	—	一、九七枚
玉蜀黍	五、八四	三、〇三	花生油	一、四四	一、八九
米	一、〇七	二、六元	木棉	一、六〇本	四、四本
小麥	三、九一	二、〇六	雜木	一、〇七	二、九元
鶏卵	四、〇五個	三、七〇個	棉花	二、三三	二、八元
支那紙三等	二、七〇	八、八〇			
△移出品					
石炭	五、三噸	一、五七噸	豆油	一、四三	一、四〇
落花生	一、一一	五元	花生油	七、四三	六、二二
鍋灰	一、〇〇	一、四三	鮮菜	四、六三	三、三九
石灰	二、九	二、六七	核桃	七、六	一、八元
各種蓆	一、二〇〇	一、五〇枚			

△港内運輸品

牛骨	一、九三	一、三四二	各種蓆	一、八〇枚	二、六〇三枚
栗子	一、六三	一、三六五	花生油	六、三五五	三、七一
石炭	六、四噸	一、九八噸	鹽	一、八四五	一、五二四六
鶏卵	四、〇一〇個	一、七、〇〇〇個	木材(軟)	—	一、九九六
落花生	三、五	四、八四	鮮菜	四、二六四	四、六三
花生仁	一、九、五〇	四、九六	雜木	三、〇	九、三二

海運及鐵道

青島港出入船舶 (三月)

本月中の入港船舶汽船は百隻にして此登簿數十萬七千五百九十三隻出港百隻十一萬一千九百九十七噸卸荷三萬二千四百四十八噸三積荷八萬八千六百四十四噸一を算し前月に比すれば何れも幾分宛の増加を示すに至れり今前月並に昨年同期との比較を示せば左の如し

月	中	出 港		入 港	
		隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
二 月	中	九四	九、五、四三	九四	九、四、四六
三 月	中	一〇〇	一一、一九七	一〇〇	一〇、七、五三
昨年三月	中	二八	二、八、〇八	二四	一、〇、二、五九
昨年三月	比 較	△一八	△七、七二	△二四	△三、六、六六
本年三月	比 較	△一八	△七、七二	△二四	△三、六、六六
計					
二 月	中	六、三七七	三、一、四、三八	九、七、五、一五	
三 月	中	八、〇、四、一	三、一、四、四、三	一、一、三、三、一四	
昨年三月	中	六、三、九、八	三、七、二、四、二	一、〇、七、三、四〇	
昨年三月	比 較	〇 一、七、七、三三	△ 四、七、四、九	〇 二、三、七、八四	
本年三月	比 較	〇 一、七、七、三三	△ 四、七、四、九	〇 二、三、七、八四	

次に入港船舶の仕出地に就て見るに日本内地四十六隻仁川四隻

釜山二隻打狗一隻大連二十八隻上海二十六隻芝罘其他支那港六隻香港二隻浦鹽一隻其他外國一隻にして出港船舶の仕向地は日本四十隻仁川五隻釜山四隻其他朝鮮一隻大連三十一隻上海二十二隻芝罘三隻天津三隻海州三隻其他支那港三隻香港一隻マニラ一隻其他外國一隻なりとす

内地近海運賃近況

小型船は漸く例年のシーズンに入りたる事とて勘察加方面適合船の物色は僅か數隻に過ぎざるも御用船借上等の好材料に一部繫船を解き若濱運炭一時二圓十錢見當迄引返し大型備船料は全くノミナル相場にて無活氣なるに反し小型船は幾分強含みの状態を示したるが川崎、辰馬等の遠洋歸來船も機を狙ひつゝ、大連等近海に割込み小型を脅威するのみならず最近國際汽船又既記の如く近海配船を決し既に小樽直江津間鐵道省運炭契約を手始めとし豆粕積取に對しては來福丸を契約する等漸次大型の近海運航を濃厚ならしめ纏まりたる積荷は動もすれば是等の大型割込船に一掃せらるゝ懸念を生じ再び伸力を殺がるゝの形勢を馴致せりされど大型船の近海積荷は普遍的に非ずして大連豆粕鐵道用石炭等に過ぎざれば其消化程度も略想像に難からざれども一方南支、南洋方面にも積荷を漁りつゝあるの傾向を有せるを以て此方面就航の中型船が大型船に壓迫せられ更に中型船は轉じて小型船を間接に牽制するを以て獨り小型船のみ多大の恢復を期待し難かるべし最近運賃率左の如し

上宮山丸	石炭	一、六五〇噸	今宿一濱	二、二〇〇	福岡
大光丸	同	一、七〇〇	住江一濱	二、四〇〇	三井
大州丸	同	一、六〇〇	若一濱	二、〇〇〇	古河
三東洋丸	同	一、五〇〇	同	二、〇〇〇	積合

英正丸	同	一、三〇〇	唐一濱	二、二〇〇	兒島
海弘丸	同	一、三五〇	若一上海	二、一〇〇	山下
チヨイサン丸	豆粕	三萬三千擔	大連三池	〇、一五	三井
伏木丸	同	腹	浦鹽一神戸	五、六五〇、〇〇〇	森
九萬榮丸	丸太	四千石	北見一兵坂	二、三〇〇、〇〇〇	野村
鹿島丸	豆粕	五萬三千擔	浦鹽一清水	一〇、五〇〇、〇〇〇	東和
			伊勢	九、五〇〇、〇〇〇	

三驛發着主要貨物情勢 (四月)

本月中の三驛發着主要貨物を見るに發送二萬一千二百噸八到着三萬二千五百五十九噸三を示し發送貨物は前月と大差無き状態に在るも到着貨物に於て三千二百五十五噸四の減退を見たり而して之を去年同期と比較すれば發着共に著しき増加を示せり

(單位噸生牛は頭數)

發送貨物	三月中旬	四月中旬	昨年	比較(本年)
到著貨物	三、七五七	三、一〇〇	二、六六六	〇、六三三
生牛到著數	三、七五頭	四、二二頭	三、二六頭	〇、九六頭

之を各貨の上に就て見るに發送貨物中の綿糸は四圍の狀況好化し本月下旬に入りてより久敷沈黙せる濟南、周村、濰縣等大需要地筋の出動買進みにより尠なからざる發送を見小麥、高粱及び一般穀類の増加は本年春作良好の聲に活氣付きたる奥地購買力の恢復を示したるが石油、石炭、魚類、砂糖等は時期の關係上何れも減退を現はせり到着貨物に在りては淄博兩炭の出炭順調輸出好望に伴れ八千八百餘噸の激増を來しコークス、桐材、鶏卵、生牛等も日本輸出の好況に伴はれて昨年同期に比し尠なからざる増加を現はせり花生實並に同油米は方面輸出絶望の聲に氣を挫かれ僅かに廣東帮の買物により市況を繼ぎつゝあるの窮

境にありしが本月は久方振りに米國筋の注文を入れて活氣を呈し別表の着荷を見るに至れり又減退貨物は葉煙草の千六百二十噸八を最とし其他獸骨米等を數ふるも其他は概して良好の成績を示せり

△發送貨物

品目	品目		品目		品目	
	三月中	四月中	昨年	本年との比較	昨年	本年との比較
石炭	一、三三〇	三、三三〇	九四七〇	△ 七三三〇	〇	△ 七三三〇
木材	一、四八五	一、二二五	九四七	〇 三二八	〇	〇 三二八
古鐵	一、八三九	七三三	六二二	〇 九二一	〇	〇 九二一
高粱	八〇五	一、九四八	一、〇七九	〇 九七九	〇	〇 九七九
小麥	一、〇八二	九三三	七四五	〇 九九〇	〇	〇 九九〇
穀類	一、五四八	三、八四七	六七七	〇 三、一〇〇	〇	〇 三、一〇〇
支那紙	五、四四二	三三〇	三三六	△ 一六六	△	△ 一六六
綿布	六、五八三	三三三	二九五	〇 二八八	〇	〇 二八八
綿絲	五、九一七	三六七一	二九二	〇 八七九	〇	〇 八七九
石油	一、七五五	一、五五七	五三三	〇 一、〇五二	〇	〇 一、〇五二
砂糖	一、八八六	一、四六五	一、九四四	△ 四九九	△	△ 四九九
煙草	一、二二一	七六二〇	九四三	△ 三三三	△	△ 三三三
魚類	三、九五〇	三〇六六	六九三	〇 三三三	〇	〇 三三三
雜貨	七、六九三	六九三	一、七三九	△ 八八七	△	△ 八八七
麻袋布	一、七四六	一、四〇八	七四六	〇 三五三	〇	〇 三五三
麻袋	三、八〇九	一、七二五	一、八二二	〇 九七	〇	〇 九七
△到着貨物						
石炭	二、八〇三	一、九四〇	三、三三九	〇 八八二	〇	〇 八八二
コークス	一、七九五	二、〇五一	四三二	〇 一、七九〇	〇	〇 一、七九〇
桐材	二、三〇九	二、二八三	一、六二六	〇 五九三	〇	〇 五九三
米實	二、四五五	二、五八七	九四八	△ 六九二	△	△ 六九二
落花生	九四八二	四、六六五	三、四九九	〇 一、三〇六	〇	〇 一、三〇六
綿絲	三、九九五	三、四一四	三、六八	〇 三六六	〇	〇 三六六
落花生油	一、五四九	一、五二二	五七一	〇 一、〇七一	〇	〇 一、〇七一

雞卵	一、四四三	三、七四〇	二、五九	〇 三、四九三
獸骨	五、四六一	三、〇四七	七七八	△ 五、七七一
生牛	三、七三三	四、二八八	二、〇五五	〇 一、三三三
葉煙草	一、五〇〇	四、二六七	二、〇三五	△ 一、六二〇

九年度山鐵運送貨物情况

大正九年度山鐵運輸貨物總噸數は百七萬四千六百七十三噸にして内一車扱百五百六千二百六噸を算し之を前年度の總噸數九十八萬七千五百四噸に比すれば八萬七千六百八噸の増加を示せり其増加貨物の主なるものは石炭五萬五千五百九十三噸穀類二萬四千九十二噸油粕五千二百五十一噸等にして減少貨物は石炭二千八百餘噸大豆一萬六千九百六十六噸落花生四萬五千九百六十二噸同油の一萬六千七百七十七噸豆油の二千九百五十五噸砂糖の二千五百十五噸葉煙草の五千六百五十三噸等なりとす今一萬噸以上の貨物發送驛を示せば(單位噸)

青島	一二六、七四六噸	岬山	一三、〇二七噸
大港	二四、六五七	大昆崙	一二二、七三七
埠頭	四一、六三二	博山	四〇七、二七九
滄口	一一、〇六五	濟南	一六二、五八八
濟南驛は前年度に於ては二十四萬噸の發送貨物ありたるも生油生實の不振に従ひ約八萬六百餘噸の減退を示し其他は何れも多少の増加を示せり尙到着驛に就て見るに			
青島	一一二、五五四噸	城陽	一八、九〇五噸
大港	六〇、三九四	藍村	一三、〇八四
埠頭	一二八、一九三	高密	一〇、八八八
滄口	二五、八六五	丈嶺	一二、〇〇二
岬山	二六、五一〇	鐵山	一〇、四七三

黄旗堡 一二、四三四 張店 三〇、三五八
 蝦蟆屯 一七、五八三 馬尚 一九、〇五五
 坊子 一五、三一六 周村 四九、六五六
 二十里堡 一〇、一七六 黄台 二四、九一六
 濰縣 五一、九四三 黄台橋 一九、一三六
 青州 四一、九四一 博山 二一、二一五
 辛店 一三、五〇五 濟南 一二二、〇四二
 以上各驛中前年に比し最も増加したるものは青島驛の一萬二千三百八十七噸埠頭の一萬六千三百五十七噸青州の一萬一千四百六十六噸周村の一萬四千六百四十七噸濟南の五萬六千五百八十五噸等にして減退の甚だしきものは大港驛の七萬三千五百七十七噸城陽九千三百七十二噸等を算す大港驛の到着が如斯激減を示せる理由は本年重要物産の取引不振に基因するものなり次に本年度輸送に係る各貨物を前年度分と比較對照するにの左如し

品名	九年度	八年度
石炭	五〇二一九三	四四六六〇〇
骸炭	三九五五二	三九五九三
石灰	一一九八二	一四八一七
煉瓦	一三六七	一八五六
セメント	一〇四五七	六〇八四
硝子板	一二三	二〇八
同製品	一四四九	二五〇八
桐	一〇五七〇	八二三〇
木材、板	一七三〇二	一二一一六一
竹、割竹	八八一	七二五

石	二〇九四	一六三〇
石材、製品	八二二三	二七三五
鐵板、製品	四四七七	六〇九六
鐵鍋	二五〇六	一三六四
古鐵	五八四四	四〇二〇
大豆	二五四〇二	四二三六七
高粱	二七三八	四三六〇
小麥	二二八六〇	一六三〇二
米	三一〇六〇	四四七六六
穀類	七〇五一	四〇七五
落花	二九二一三	五一二二
麥粉	三一五七七	七七五三九
陶磁器	二四九五	二二三六
支那紙	一〇一四八	七九一二
紙	六八八五	四四五四
麻	三九四	二三〇
綿布	二一六九	一二四五
綿糸	一二〇二七	三九一四
綿製	六三三五	三〇八一
綿製	一五六四一	七六四九
絹糸	二四〇	二一八
絹布	二九九	一四一
繭類	二五四	一五二
繭類	四四三	六七二
棗	二九二	八四二
梨	四一	二六

藍	鷄	野	乾	食	支	ビ	日	砂	鹽	藁	安	麥	肥	油	油	牛	豆	花	石	果	瓜	瓜	密	胡	乾
卵	菜	物	料	那	酒	ル	本	糖	粟	稈	平	真	料	粕	類	油	油	生	油	實	子	瓜	柑	桃	柿
一二二	六〇二八	六八七二	二二八〇	二六九	二四六	二一六	一五九	八四一一	三三五八	七三三	一六〇〇	一〇五一	三一〇九	七六〇八	六八五	二一八二	五〇四一	一三四四一	一八二八五	一一〇一	一〇八	七七八	一六一	一〇五二	一六七四

五九	二〇九二	七二三	一四一六	一八二四	二〇九二	四二五〇	一八四	一六二〇	二四一	二八六	一三六六	七五〇	二三五七	六一五	一二〇七	八〇〇一	二九六一三	二五〇八一	七八四	二五一	四二三	九七七	五八一	一六八
----	------	-----	------	------	------	------	-----	------	-----	-----	------	-----	------	-----	------	------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

麸	麥	家	銅	青	銅	火	磷	磷	雜	木	箒	昆	魚	豚	牛	獸	羊	豚	茶	葉	煙	石	曹	藥	染
袋	具	錢	貨	類	寸	貨	粉	草	皮	皮	骨	毛	毛	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草	草

一六九一	三九三五	三七〇	一一九五	一六七	四二一一	二四	二四一五	三六二二七	一四四五四	九三二	二九五三	七七一	八六一〇	三六〇	一〇八五	三〇九五	五八四	六三二	一七三九	一二八〇二	四〇七〇	二二七	五八二	二一〇〇	二八五二
三三九二	三二七九	三四三	一一〇	四九	二六四	二四	六五〇四	四九九四	九七三一	四二二	二〇三四	一一七四	五四九七	二五九	一三〇九	四二九四	一〇五三	三六三	六七八	一八四五六	四一九	一三七	七二三	一四一六	一八二四

蛋	粉	二九	九〇
容	器	六六五	一
其	他	三一二七二	一三七四〇
豚		一八四一九頭	一七八六頭
羊		八一七同	一七四二同
驛、驢	馬	三八三九二同	一五七一同
馬		二二八五同	三同
牛		七六八六五同	四〇四九二同
合	計	一〇七四六七三噸	九八七五〇四噸

商 況 (四月)

◎綿糸布

△綿糸 前月商盛の跡とて月初市況稍一服の姿にて商談比較的遅々たりしが阪地は英國勞動問題紛叫の爲め印度方面よりの入注支那一帯の好況内地需要の漸増と四圍の狀況悉く良好に米綿銀塊又暴落を示せる事とて三品市場も漸く一陽來復の觀有りて根本的恢復の色鮮かに相場は日一日堅實なる歩調を辿り當地も流石に之の刺戟を受け再び實需筋の買進みとなり就中奥地一帯春作良好見越の聲に送られ月末には久敷沈黙せる濟南周村濰縣の大需要地筋の出動をも見受くるに至り現物拂底の市場は益相場の昂騰を演じ一時上海市場との出合をさへ見るに至りて人氣良好裡に閱月せり

綿糸相場	上	旬	中	旬	下	旬
銀月(十六手)	一三六兩		一三七兩		一四三兩	
扇面(十六手)	一三七		一三八		一四四	

唐子(二十手)	一四〇	一四一	一四八
福助(二十手)	一四八	一四六	一五二

△綿布 有力なる綿布問屋たる裕源長、裕慶永の破産事件あり且奥地土匪の蜂起等の爲め月始めに當りては人氣沈靜して更に見るべき商内無かりしかと其後三品高に伴れ細布、粗布等弗々荷動き良好となれり最近濟南方面稍買氣を齎し來れるより市況立直りの氣勢を示しつつあり

綿布相場	上	旬	中	旬	下	旬
九龍粗布	五、〇〇		五、一〇		五、二〇	
水月同	四、五五		四、六〇		四、七〇	
鷄天竺	三、八〇		四、〇〇		四、一五	
菊同	二、八〇		二、九〇		二、九〇	

◎砂糖

月始原料糖日本青島共保合狀態に在りしが日本製糖家筋は相場維持策として市中安値物の出現あれば直ちに買戻しに出でたる爲め市況聊か持直したるも支那一般市況は先行不安に誘はれて漸落歩調を辿り當地も其に附隨し先安を見越し高値には買控の態度を採りたる爲め市況惡化し上旬より下旬に向け相場は漸落の歩調を改めず此形勢に伴れ香港糖も安値成行賣放ちの意向にて相當奥地へ移送せられたるを以て益市況を惡化せしめたるのみならず思惑筋も先行不安の爲め買氣を殺がれ本月を通じて當地市況は閑散弱氣配を以て一貫せられたり相場は鹽水港渡十九元五十錢見當より十八元五十錢(現物)見當を稱へ市中在庫品としては太古の手持品七八千俵を算するのみにして其他數ふるに足らず

◎燐 寸

輸入燐寸は品薄と共に本月始頃より買人氣に一轉し來り相場は二十八兩より二十八兩五匁見當を往復し頗る好況を示し當地製品も亦安平入四十一元五十錢見當にて弗々實需筋の買氣を呼び數ヶ月の長期に亙り沈滞を重ねたる市況は茲に漸く曙光を認め僅かに活氣を呈し來れるものから青島東魯二工場共競ふて繰業を開始し賣競ひたる爲め市場は再び伸張力を殺がれたる觀あり殊に當地製造家筋に於ては奥地方面の大口買物現はるゝに於ては相當安値賣放ちの意向ある模様なれば之が爲め却て市況を牽制せられ向後共餘り多きを期待し難かるべき模様なり、日本輸入安物は現在市在中在荷幾莫も無く遠からず在荷の一掃を見るに至るべく今後當地に輸入せらるべき日本品は新原料による新製品たるべきを以て其迄に尙多少の時日を要する次第なれば市況幾變遷を免かれざるべきと當地製品の見込薄に反し輸入雜牌は餘り安値を出すこと無かるべしと觀測せらる

◎白 米

鮮米は内地米價の軟弱に伴れ一時上米一呎八圓臺に落込みしが最近に至り各地強調の報を入れて稍持直し月末九圓見當を保合へるが上海米は邦人向上等品の市在中在荷薄に伴れ相場はデリ高の步調を辿り月央頃上米一袋十六元五十錢と上押せるが時節柄產地上海よりの出荷は頗る困難の事情あり現在市在中在荷約七千俵を數ふるも上米は僅かに千五百俵内外に過ぎず當分緩和の見込立たざれば先行益強調を豫想せられしか鮮米安に支商手持筋賣急ぎの氣味にて市況却て安保合の商狀を呈するに至れり然れど鮮米との間に尙相當の値開きを示し居れば今後共鮮米極度の

暴落を見るに非ざるよりは上海米の需要を脅かすには至らざるべしと觀測せらる月末鮮米角九赤一呎金九圓上海米極上一袋銀十六元五十錢見當を保合へり

◎花 生 實

米關稅改正に對する一部商人の思惑買進により一時的活況を誘ひし生實界も其後注文杜絶の有様に氣腐れ七日甲號四元八十錢の底値を呼びしが中旬頃に至り同方面より粒物の入注ありたりとの噂に驚かされて稍強調を示し再び某大手筋買出しの聲に愈活氣付き遽かに二三十錢方上押十六日五元十錢迄持直したる處へ米關稅改正案下院通過の報を入れて氣配崩れ再び四元八十錢の底値を現はすに至りしが市場は始終何等かの材料を見出さば之に縋りて跳上らんとするの氣配を示し居たる矢先月末油の奔騰に隨伴して五元四十二錢と跳ね相當手合行はれたり生實市中在荷約十三萬俵に達せるが何れも米市況好況時五元六七十錢位の相場に仕入れたるものにして近頃の底値には賣控形勢を窺ひつゝあり

◎花 生 油

前月末米關稅改正(五月)前の思惑買物現はれ四月積にて相當商談成立せる折柄市在中在荷薄の爲め一時市況の沸騰を見たるも同買物の終了と共に軟化し爾來買氣絶無の有様なりしを以て相場は漸次下押の商狀を辿り月始十元臺に陥込み市況著しく軟調に傾きしが六日廣東帮の現物買進みに稍景氣付きたる一方邦商大手筋の直接積出し説に市況愈順調を呈し先物十一元六十錢と持直せしも束の間忽ち軟調に轉じ爾來漸落の步調を改めず二十日

先物十元五十錢の低値を現はし悲慘の記録を止むるに至りしが再び廣東幫の買進みに伴れ稍引締り神戸方面豆油硬調の入報に刺戟せられて實も油も跳上り二十六日十一元十五錢の高値を現はし俄かに賣玉の増加を見たり其反動として月末近く十一元臺を割り先物八九十錢を稱へ茲にて尠なからざる旗賣筋の買物を見たるも大勢先弱を豫想せられしが月末大手筋の大口積出し注文入りたりとの報に再び十一元六十錢と暴騰約八百餘車の手合を見本月を終れり

◎鹽

春鹽出廻時期に入り漸次埠頭來著舳板數を増加し來りたるも月始各社に割當られたる本年度日本政府納入鹽を見るに僅かに一億萬斤に過ぎずして前年度に比し更に七千萬斤の減額を見たるはさらでだに消沈せる市況に暗影を投じたる感あり普通白鹽四元五十錢の低値に落込みたるも買氣薄にして其以下の劣等鹽の如きは殆んど相場立たず

◎牛 脂

市中在荷薄に附け入り内地相場に比し著しく高稱へなりし市牛脂界も買手無きに氣腐れ支商側漸次軟化の模様にて月央頃膠州物上十六元臺西鎮物上十五元四十錢と暴落漸く内地相場との出合を見るに至り弗々市場の買氣を誘ひ相當商内行はれしが引續き邦商買聲絶わざりし爲め二十一日原油上物十七元と一元方の上押を見たるも市中上物薄下等品と雖も纏りたる大口物無くして混合物のみ積出さるゝ模様なりしが高値には買控月末上物十六元三十錢中十六元下十六元二三十錢と弱保合中閑散裡に本月を終れり

◎鶏 卵

月始一時輸出貨物盛況を極めし爲め市況稍順調を呈し高密上十六元五十錢濟南十三元と小戻しを見たるが市中滯貨の漸増と共に軟調に傾き爾來デリ安の步調を辿り各種を通じて一元見當の下落を見たるも内地安値と濟南小玉物に押されて二十三日高密上物十四元五十錢昌樂十五元海州十一元五十錢の低値を現はせしが月始輸出旺盛なりし爲め内地方面聊か荷支へ氣味にて投賣物の出現に市中輸出商も稍警戒的態度を採り輸出を手控ふるに至りたる爲め市中滯貨漸増二十五日四千箱内外の多數に上れる有様なれば相場は更に低落を演ぜし處月末内地相場益々不味を入れて輸出業者は一齊買控たれば滯貨激増相場激落月末高密大玉十三元五十錢昌樂十四元五十錢青州十元海州濟南上物十元見當に落込み市況頗る軟調閑散を呈せり

◎石 炭

内地炭は一般炭況の惡化を沮止せんが爲め一割七分の出炭制限を斷行せしかば多少當面の效果を現はしたるものゝ如きも大勢既に如何ともする事能はず殊に近來山東炭の當地供給狀態比較的豊富となりたる爲め從來青島輸入炭は殆んど其姿を絶つに至り淄川の出炭は愈順調となり殊に汽船焚料炭の供給潤澤にして埠頭には常に相當の貯炭を有し積取船の誘引に努めつゝあり博山炭は主として支商の手により上海に仕向けられつゝありが近頃同地方需要者側(支商)より來青大數量の引合を開始せる向ありと聞けり從來當地に於ける博山炭輸出商としては丁敬臣其他専ら支那商人の手により輸出せられたるものなれば上海市場に現はるゝ山東炭は銀安に伴れ幾分安値を現はすべきも内地

炭況不振による炭價の下げ足迅きには遠く及ばざるものゝ如し大連方面撫順炭は地賣及焚料共多少の値下を爲したる爲め青島に於けるバンカー積取は必ずしも割安ならざる状態に推移し來れるより考ふれば今後共百萬噸の貯炭を擁せる撫順炭は當山東炭に採りては非常の脅威を感ずるなるべし

内外經濟要報

輸出貿易發展根本策

我國對外輸出貿易は漸次衰運に向ひ前途暗澹たるものあり豫て日本貿易協會に於ては之が發展策に就き貿易、工業、運輸、交通、各部聯合會に於て夫々調査研究中の處愈々左の如き決議を得たるを以て内閣總理、農商務、大藏、逓信及鐵道各省大臣に提出すると同時に實業團體へも配付し賛助を求むる筈なりと云ふ意見書左の如し

貿易前途暗澹 我國の外國貿易は歐洲戰亂の終了以來反動的傾向に陥り輸出減退輸入超過に偏し就中輸出貿易に至つては前途頗る暗澹たり蓋し我輸出貿易不振の根本原因は海外需要國に於ける購買力の減退と内地物價の不廉とにあり海外購買力の減退は戰後各國の經濟力衰退が其主因たりと雖も通貨の下落と爲替の逆關係とが亦大いに與つて力あり我商品の値も之れが爲めに彼に對しては一層不廉とならざるを得ず加ふるに戰時中海外需要の旺盛なるに乗じて我國より粗惡品を輸出し信用を失墜せることも其一因たり然るに海外諸國に於ては對外貿易の復活を以て最急務となし有らゆる智能を集めて適策を研究して之を施行せしため一旦産業の荒廢せる國も漸次其生産力を回復し或は投

賣的廉賣に依り或は長期貸賣に依りて貿易の回復を試み加ふるに爲替上の不利益は却つて彼の輸出に利便を與ふる結果となりたるを以て此等の諸因錯綜して我輸出貿易を頓挫せしめ今後内地の物價にして低落することなくんば我が輸出振興の見込は殆んど無しと云ふべき形勢となれり此形勢を速かに轉換するに非ざれば前途轉た寒心に堪へず

輸出回復障害 然るに我國に於ては國內經濟上或種の調節又は救済に重きを措き當然來るべき物價の低落を阻止し若くは反對に之れを釣上げんと欲し政府も亦之れに援助を與へつゝありと雖も今や物價の低落は實に世界的大勢にして之れに逆行するは物價の自然的整理を妨げ財界の不自然なる状態を繼續せしむるものにして輸出回復の大障礙たるや衆論の一致する所なり是を以て今日我經濟界を速かに常調に復し貿易の振興を圖らんとするには世界各國に先んじて物價の引下を行はざるべからず然らば如何にして之れを實現すべきやと云ふに

第一は現在の滞貨を適當なる方法に依り速に處分するに在り

第二は努めて生産費を節約するに在り

第三は輸出促進の途を購するに在り
滞貨處分肝要 今第一の目的を達せんとせば滞貨の所有者は自ら大なる犠牲を覺悟して其滞貨中内地に於て處分し得べきものは之れを内地に於て處分し海外へ輸出し得べきものは之れを海外へ輸出し之れに關して銀行業者も亦相當の苦痛を忍びて充分なる便宜と援助とを與へ又海運業者は其の過剰なる船腹を安價に提供し陸上運輸機關も其運賃を特に低減し保險業倉庫業者亦特別なる割引をなす等處分を容易ならしめ經濟界の諸機關舉つて犠牲的精神を以て互に連絡を保ち此目的に向つて協力せば其

效果の觀るべきものあるべし

生産費節約 第二の生産費節約に付ては勞銀に最も關係深く且つ資本家側の自制を要する所にして資本家は低率の配當又は利子に甘んじ且つ事業の廢合整理を斷行して生産の制限すべきものは宜しく之れを制限し又其の休業の己む可からざるものは宜しく之れを休業して勞力を節約せば自ら賃銀の下落を來たすのみならず利潤の減少と勞働賃銀の低落とは各物價低落の一原因にして而も勞働賃銀の低落は物價の低落と相待つて行はるゝことを要するが故に一方に於ては生活日用品の小賣相場を引下ぐるの要あり現今所謂問屋相場は既に低落したるもの多きに拘はらず小賣値段に至つては容易に其引下を斷行するに至らず必竟矛盾撞着多き現經濟事情の然らしむる所なるを以て前述の如き大勢逆行の人為的物價政策を打切り物價をして其經濟的作用に従はしむれば小賣値段も自然低下すべく此際公設市場を首めとし一般小賣商に於ても成るべく犠牲的覺悟を以て卸相場に追隨して値段の引下を斷行せば物議を惹起せずして勞働賃銀を引下げ生産費を節減し輸出品の價格を低廉ならしむることを得べし販路の獲得 然り而して第三の目的の爲めには前述の如く滯貨の處分、賃銀の引下、生産の節約を圖り物價を低廉ならしむるの外尙一步を進めて海外に販路を求むることを要す今や世界の趨勢に順應して外國市場に馳驅せんとせば雷に廉價なるに止まらず同時に品質を優良にして海外の需要を喚起せざるべからず由來我製品は粗製濫造を以て稱せらる是れ甚だ我對外貿易の爲めに遺憾とする所なるを以て廉價と良質の二特長ある製品の輸出を企て而して我當業者間の歩調を整へ同業者相互の利益を圖るため各製造家相謀りて特別な輸出機關を設け此機關を中心

として貿易業者、銀行業者、海陸運輸業者、保險及倉庫業者と連絡し互に一致協力せば資金の融通に就ても將又運賃其他諸掛の輕減に就ても自ら便宜を生じ併せて各自競争の結果たる粗製濫造又は賣崩し等の弊害をも矯正して販路の開拓に資するや大なるべし

結論 之れと同時に政府に於ても對内政策にのみ焦慮せず我對外經濟關係の不振が將來内外に及ぼす惡影響の重大なるに鑑み輸出品に對しては特に鐵道運賃を低減し又各種の課税上に於ても輸出振興の必要に應じて特別の保護を加く此際貿易の發展を企圖するに非ざれば我經濟界の萎微衰退は時の經過と共に益甚しからんとす

日英米の貿易額激減

(農商務省發表)

本年上四半期(一月から三月)に於ける英國の貿易額は總計五億三千五百八十萬七千磅にして中輸入額三億八百五萬一千磅輸出額二億二千七百七十五萬六千磅入超額は八千三十四萬磅である之を前年同期に比較するに輸入に於て二億二千二百六十一萬磅(四割二分)輸出に於て六千七百七十八萬七千磅(二割三分)總額に於て二億九千三十九萬五千磅(三割五分)を何れも減少した然し輸入額の減少は輸出額のそれに比して一層甚だしかつたから輸入超過額は前記の如く僅僅八千餘萬磅に止まり前年同期に比し約三分の一に減じた而して本期中に於ける各月の貿易額及び前年との比較は左の通り(△印減)

本 年		前年との増減比較	
一 月	輸出	輸入	計
	一一七、〇五一	九三、七五六	二〇九、八〇七
	△△△	△△△	△△△
	三、五	一、二	二、七

三月			二月			一月		
入超	輸出	輸入	入超	輸出	輸入	入超	輸出	輸入
二四、三四五	九七、〇〇〇	六八、〇〇〇	二四、三四五	九七、〇〇〇	六八、〇〇〇	二〇九、〇〇〇	六五五、〇〇〇	八六四、〇〇〇
△	△△△△	△△△△	△	△△△△	△△△△	△	△△△△	△△△△
六・九	四・三	二・一	六・五	三・五	二・八	五・六	三・八	二・四
△	△△△△	△△△△	△	△△△△	△△△△	△	△△△△	△△△△
六・九	四・三	二・一	六・五	三・五	二・八	五・六	三・八	二・四

右の如く各月とも前年に比して減退著しく特に三月に於ける輸出額の如きは前に比し凡そ五割激減して居る斯の如きば數年來見なかつた所である翻つて同期間に於ける本邦の貿易狀況を見るに總額に於て前年に比し五割五分の減少を見た即ち本邦貿易の不振は英米より一層甚だしい特に注意を要すと思はるゝは英米兩國とも輸出は輸入に比し其減退の程度が少いが我國の輸出並に輸入額の減退の程度は殆ど相等しいと云ふ點である即ち左表の通り

日本	英國	英國	國名
五・五	四・七	四・二	輸少入少
五・五	三・〇	二・三	輸少出少
五・五	三・七	三・五	總額少額
入	出	入	差額少額
五・六	〇・四	六・九	輸出少額

株式現物市場併置確定

取引所政策の問題に對する農商務省當局の意向は發表せられたる所に據り明かで當局に於ても之に根據して行政方針を確立し市場取締を實行しなければならぬ

是等諸政策中には法律の改正に待たなければ施行不可能に屬するものがあるが最近取引所理事者と當局の協議したる結果當局に於ても先づ現行場外取引の取締問題及び現物市場問題に就き研究する所あり

場外取引に關しては差當り新取締法規を發令せざる方針の如く現物市場に就ては先づ現物仲買人を認容する事とし賣買取引に就ては現物消化上の圓滑なる清算決濟等の方法を講ずる事に依り取引所に於ける現物取引の發達振興を促進すべき方針を確定

した東京株式取引所理事者も去大正八年十二月主務省に對して國債仲買人と共に現物仲買人の認可及び現物仲買人の人員を二百名以内とし其の身許保證金を二萬圓とする營業細則追加變更の申請をなしたる關係上近く之が修正認可あるべく諒解の下に研究する所あり二十八日所屬仲買人會を開き協議する所あり仲買人側に於ても問題が大體時勢に適切なる事項なる爲取引所側は略意見の一致を見茲に現物市場を取引所管理下に設置するに決し之が實施上の場帳登録賣買手數料等の諸問題を研究の後具體案を製作して協議する事とし散會した而して實際現物取引市場の實現するは現物仲買人認可手續の關係上多分六月の候なるべく現物仲買人の人格資力信用等の銓衡の如きも可なり嚴格なるべく既に設立せられたる東京株式取引所現物市場組合の組合員と雖も悉く現物仲買人たるを得ざるべく之に伴うて組合員の處理問題も起るだらう因に取引所の申請したる現物仲買人の保證金は二萬圓なりしも申請當時と今日は財界の事情を異にし居れば或は五萬圓以上にあらざるかと云ふ

九年度滿鐵埠頭總貨物

大正九年度(九年四月より十年三月末迄)に於ける滿鐵埠頭の保管貨物の出入庫狀況は入庫貨物總計三百九十七萬五千六百七十六噸出庫貨物總計四百二萬九千八百三十七噸なるが之を前年の入庫高三百五十二萬七千九噸出庫高三百二十九萬五千九十噸に比すれば入庫に於て四十四萬八千六百六十七噸出庫に於て七十三萬四千七百四十七噸の増加を示せり因に右入庫貨物内譯左の如し

到着貨物

二、八五九・九六五噸

輸入貨物
市内搬入貨物
期間更新

合計

九六・四九三
九二・三三四
二六・八八一
三、九七五・六七六

右表に依りて明かなるが如く到着貨物は二百八十五萬九千餘噸に達し前年度に比すれば約四十萬餘噸の激増を示し居れるが這是東清鐵道及び浦鹽港が混亂狀態にありし爲め北滿貨物の南下するもの増加せる結果なり即ち大正八年度中に於ける東清滿鐵線の貨物は九千三百五車(總噸數二十萬六千六百十八噸)に過ぎざりしが九年度は一躍二萬四千七百七十七車(總噸數七十萬六十一噸)に達せるに因る而して其主なる貨物は小麥の五十六萬三千三百九十五噸等なり其他到着貨物の主なる品種別左の如し

單位噸

大豆	一、五七三、六〇二
高粱	一四八、八四七
包米	五三、八五五
小麥	四二、五三六
麥子	五六三、三九五
蘇花	二七、七七一
落花生	七、〇二六
豆粕	一八六、〇六
豆油	八、六五八
麥粉	二五、二四九
砂糖	三、二八
銑鐵	三五、八五八

尙九年度に於ける輸入狀況は僅々九萬六千四百九十三噸にして

其主なるものは麻袋一萬七千五百九十六噸セメント九千九百三十一噸金屬製品類七千二百八十九噸砂糖六千九百二十三噸石油三千十一噸綿布三千三百八噸、綿絲二千四百七十四噸等にして綿絲布の如き著しき減退を示せり更に市内より搬入されたる豆粕は九十三萬九千餘枚を算せり翻つて同年度中に於ける出庫狀況は發送貨物一萬七千四百十九噸、輸出貨物二百六十九萬五千九百九十七噸市内搬出貨物百二十萬四千七百四十七噸期間更新貨物三萬七百七十二噸にして總四百二萬九千八百三十七噸なり右輸出貨物の主なるものは大豆百二十三萬八千三百三十噸、大豆五十五萬一千六百三十一噸小麥五十一萬三百九十五噸銑鐵三千三百六十六噸等なるが其他の輸出貨物の品種別左の如し(單位噸)

高 梁	七〇、一五八
包 米	二四、七八〇
小 米	三四、七五八
蕎 子	二四、五七四
土物鑛石類	二〇、六一七
小 豆	二〇、四二六
麥 粉	四、六二

而し九年度に市内へ搬出され市内各油房にて消費されたる大豆は九十萬八千六百十一噸に達し居れり更に同年中に於ける混合保管大豆粕の出入庫狀況左の如し

混保豆粕	▲合格	舊不合格	普通預
繰 越	一七四、四五三	一、三〇七	一七〇
入 庫	二三六、四六七	八、四二〇	—
出 庫	四一、四一九	七、二七一	一七〇

現 在	新合格	新不合格	奧地粕
繰 越	—	—	—
入 庫	七七、九六一	一五、一六四	六九九
出 庫	七二三、三四二	一三、七〇五	四九八五
現 在	五七、六一九	一、四六	一、七二三

▲混合大豆

八年度産

特等 普通 格下

繰 越	四、七八五	一八、〇九八	一八、三三一
入 庫	七、五一七	一九二、九二七	一六五、九一一
出 庫	一二、三〇一	二三、〇五八	一八四、二一七
現 在	二	三八	二六

九年度産

特等 普通 格下

繰 越	—	—	—
入 庫	庫七二、九七一	四八七、四二〇	二四四、七五七
出 庫	庫五七、四八三	三七七、四二三	二〇七、三一七
現 在	在一四、四八八	八九、九九二	三七、四四〇

石油論争起る

米國政府は和蘭政府に通牒を送り若し和蘭政府にしてスマトラの油田開發に外國資本の參加することを飽まで拒絕するに於ては米國は止むを得ず合衆國に於ける油田に和蘭資本の投下を禁止す可しと云へり是れ世界石油戰に於て更に一矢を放てるものなりハーデング政府は其就任以來合衆國將來の所要に應ず可き

十分の石油の供給を確保せんが爲め行動を取るの必要を認めたり。世人は合衆國に於ける油田は無盡藏なりと思惟し居たるも事實は全く之に反し現に墨西哥よりする警報は同國に於る最豊富の油田も茲一年内に涸渇するもの多しとあり加ふるに列國は一面合衆國に石油の供給を仰ぎつゝ他面墨西哥に於て新に採油權を獲たるを以て旁米國政府は今回和蘭に對し前記の如き照會を爲すに至れるものなり和蘭の法律を見るに蘭領に於ける油田開發に就いては一切外國資本の參加を排斥すとあり然れども此程華盛頓に達せる情報に據れば世界最豊富の未開發油田と稱せらるゝ彼のスマトラのジャムビ油田を略獨占したる二會社には英國資本の投下せられ居るもの頗る巨額に達すとあり和蘭資本は常に世界至る所の石油事業に活動し來り彼の和蘭シエル團の如きは合衆國に幾百萬弗の投資を爲し居れり故に合衆國の油田より和蘭資本の驅逐せらるゝことは和蘭に取りて大打撃なる可し國務卿ヒューズ氏が和蘭に送れる通牒には米國資本はスマトラに入らんとする覺悟なり而して又入るの權利ありとあり是れ必需物資に對して門戸開放主義を唱ふるものにして又機會均等は世界將來の石油問題の解決法なりとの米國の信念を開陳せるものなり

九年度滿洲小麥輸出

滿洲小麥は從來に於ては其存在すら世界に認められざりしが歐洲大戰終了後に於て鈴木商店の活動に依りて輸出を開始して以來歐洲各方面へ廣く紹介せられ滿洲小麥は其品質に於て又産額に於て漸く世界的商品として聲價を高め來たりたれば滿洲小麥輸出の將來は滿洲大豆と並稱さるゝに至るべく觀測さる而して

滿鐵埠頭事務所調査に係る大正九年四月以降十年三月末迄に於ける小麥輸出狀況は總計四十九萬三千三百十四噸に達せり
月別仕向國別

	日本	支那	歐洲
四月	一八、三三八		一、一二五
五月	一七、八一九		二、二五〇
六月	一八、一二九		三八、九七八
七月	一二、六五〇		二八、二八九
八月	六、五〇八	一〇二	七一、七三二
九月	一、六四二	一、〇四四	五六、五九九
一〇月	二二三		七〇、九一一
十一月	六四〇	一七五	五六、五一四
十二月	一、八六八	一、二五六	五、五二六
一月		三、二七一	一三、三八二
二月	一七二	三〇八	三八、一三七
三月	一三、七〇一	六七	
尙右の外米國向輸出五月一、一六二噸、六月七六六噸、七月六五三噸あり			
各月輸出合計	一八、三三八	一〇月	五六、八三二
四月	一九、三〇六	二月	七一、七二六
五月	二一、一四五	二月	一九、六一八
六月	五二、二八一	一月	八、八九八
七月	三四、八九四	二月	一三、八二三
八月	七四、四一八	三月	五一、九〇五
九月			
仕向地別合計			
日本向輸出	九〇、八九五		
支那向出	六、三二九		

歐洲向輸出
米國向輸出

總合計

二九三、四一四
二、五八一
四九三、二一四

大正九年度中四十九萬三千二百十四噸の輸出を見たる原因は大正八年秋頃日本向き輸出の増加と共に歐洲へ多少仕向けられたるに初まり大正九年三四月頃世界小麥の主產地たる米國加奈陀亞爾然丁濠洲印度に於て作柄不良なりし結果亞爾然丁に於て小麥の輸出制限をなし亞米利加に於いては又賣控實需地たる歐洲に於いては產業回復せず依然として食糧缺乏を來し偶滿鐵小麥の引合開始され鈴木商店が英國政府の御用商人プロデュエウスコーンバニー、ワット等三巴となりて輸出を劃策せる結果斯くの如く輸出激增を見たりしなり更に四月中の小麥輸出高に日本向一萬二千六百六十七噸歐洲向九萬二千五百二十九噸にして總計十萬五千九百九十六噸に達し滿洲小麥輸出の記録を作れり這是鈴木商店の二月中の契約にして四月積出に成れるものなり尙最近の商況を見れば五月以降の先物に於ては歐洲の買氣無く亞米利加亞爾然丁等主要産地の賣物出たるを以て滿洲小麥の商談杜絶し居れば一時的際物にて將來に於て斯くの如く輸出ある筈無し等いふものあれど這は一の杞憂に過ぎざるべしと云へり

米國小麥引返す

四月中旬一弗六仙の價值を付けた米國小麥は其の後反動的に漸騰し遂に二十五日には一弗十五仙と右の安値から九仙方引返し引續き同調持合の商狀である之れは冬麥收穫期の同國持越量は例年四千萬ブツセル見當であるのに本年は假需要を減じたのと一方歐洲方面への輸出不振との爲めに三月一日の調査では一億

二千七百萬ブツセルの滯貨を示し其後端境期迄の消費量の種子用を差引いても古麥に於て約八千萬ブツセルの輸出餘力が計上される上新麥の作柄が良好である爲めに農家筋は先安見越に傾き新麥一弗臺割れを豫想して盛に賣急いだ結果新安値新安値と踵を接して低落したのである然るに一時撤回された緊急關稅が再び上院に提出され而も五月早々實施すると云ふ意氣込であつたので之れが通過の曉は年々四千萬ブツセルからの輸入を見つゝあるが加奈陀小麥が一ブツセル三十五仙の重稅に堪へ兼ねて輸入が阻止され其の結果現在の滯貨は國內に於て樂に消化せらるゝであらうと云ふ思惑から農家の賣腰を強からしむると共にポートランド、シャトルあたりの旗賣り筋をして俄に買埋めを始めしめた外之れと前後して日本から小麥の買付註文が入込んだ爲めに急遽引返しを見せたものであらうと

春分麥作景況

(農商務省發表)

農事試驗場本支場及道府縣立農事試驗場に於て毎年同一の耕種方法に依り其の年に於ける氣象と作況との關係に供せんが爲施行せる豊凶參照試驗地に於ける春分(三月二十一日)麥作景況左の如し平年とあるは各農事試驗場に於て前七ヶ年間施行せる試験成績中最豊最凶二ヶ年を除き五ヶ年を平均せるものなり

▲良 東京長崎愛知岐阜長野宮城福島石川鳥取廣島德島愛媛
佐賀熊本

▲稍良 九州支場埼玉栃木和歌山鹿兒島

▲平年 東京本場群馬千葉靜岡滋賀山形秋田高知大分宮崎

▲稍不良 島根岡山山口

▲不良 畿内支場京都兵庫茨城奈良山梨福井香川福岡

▲積雪の爲缺調 陸羽支場北海道新潟岩手青森

▲缺調 神奈川三重

直隸省の麥作

華北華洋義賑會分配部の理事ジエ、エツチ、マツカン氏は直隸省北部に於ける麥作の不作に就て四月三十日附を以て左の通り報告せり

◎華北 華洋義賑會の賑救區域則ち直隸省内天津浦線及白河に交流する諸川及運河の輸送區域内の各地方中其南部一帯は二十日間以内に不慮の不良狀態起らさり限り麥作見込良好なりと言ふ事を得べしと雖も目下の如き乾燥せる風吹き續き及び雨量を缺く場合には最良作の地方と雖も收穫減少の虞あり滄州以南各地は今期麥作の收穫を以て其地方の人口を養ふに足る可きも唯其區域内にも所々不作の場處ありて救護を必要とすべきが其面積及程度は統計の纏りたる上ならでは斷言し難し滄州以北及以東の麥作見込は頗る不良なり鳳店冀縣肅寧等の地方は多少の收穫あるべしと雖も其最も良好なる地方も尙其居民を養ふに足らざるべし要するに是等地方の大部に涉りて全然不作なれば向後引續き大に救護を繼續するの必要を見るべし大城文安靜海及寧河四地方は尙不良にして雨量缺乏のため全く播種する事能はざりき靜海の如きは三百村廿萬人の人民は飢餓に苦しむ可く是等地方は昨年度に於ては八萬五千人の救護を要すと報告せられたるに過ぎず他の三地方も略ぼ同様の狀態なりと推定するを得可し

内地鹽田整理問題

我鹽業經營の方策如何に就ては目下經濟調查會に於て調査中な

るが大正九年度に於ける内地の鹽需給關係を見るに漬物、味噌醬油其他食料用十二億八千萬斤漁業鹽一億四千萬斤曹達工業用八千萬斤合計十五億萬斤の右の中約九億萬斤は内地鹽なれど残り六億萬斤は青島關東州臺灣等より輸入せられたものである而して今專賣局の鹽賠償價格は内地鹽一等四圓二十八錢百斤に就き以下同じ二等三圓九十一錢三等三圓六十錢四等三圓三十五錢五等三圓十三錢なるに對し青島鹽上等一圓一錢並等九十一錢關東州鹽上等一圓十九錢並等一圓九錢臺灣鹽上等一圓六十四錢並等一圓五十一錢にして内地鹽と輸入鹽との間に非常に懸隔ある所以のものは言ふまでもなく前者は煎熬鹽後者は天日鹽にして兩者生産費の高低に大なる相違あるが爲めである最も輸入鹽は更に加工するにあらざれば内地鹽同様の用途に供し得られざるものあれども假令加工費用を加算するも尙青島鹽百斤一圓八十錢見當に止り内地鹽よりも遙に低廉なるを以て此際内地鹽田を整理して内地鹽の産額を減少し割安なる青島關東州臺灣等の鹽をヨリ多く輸入して安價に供給することゝすべしとの説あるが曩に明治四十三四年の交内地鹽田の一部を整理せる結果に徴すれば整理せられたる土地の多くは荒廢に附せられつゝあるに搗で、國防上自給自足の見地より斯く思ひ切りたる整理を爲し得ざる事情もあれば當分の所漸次内地鹽田の整理を爲すと同時に青島臺灣等の鹽業の發達を圖るの外はあるまいと

附屬運動部彙報

△九水探勝旅行。三月二十一日運動部主催の下に嶗山九水中一水二水三水老鴉巷間探勝旅行を舉行せるが當日參加者五十餘名

に達し柳樹臺より女姑口驛に至る七里の行程を踏破して意氣健昂午後八時青島歸著解散せり

△青島一周マラソン競走 恒例により運動部主催青島一週マラソン競走は四月十七日午後一時開始せらる開始前に當り前年第一回競走に於て商工田村選手の手に獲得せられたる優勝盃は返還せられたり當日出場選手五十六名は午後一時五分出發の合圖と共に一齊にスタートを切り旭練兵場コースを半週し櫻大路に向ふ旭山麓の山道を縫ひて走る頃より陸軍加藤、山鐵城戸、商工藤澤、中學重村、引田、越場等一塊となり後方選手との間に間隔を生じ第一關門(臺東鎮入口)を通過する時に越場稍遅れて五人の選手は黄色の襷を受取りて工場地の大街を第二關門に向つて疾走す第二關門(青島神社前)を通過する時も依然五人の一團は前後して襷を受取第三關門に向ふ宮前町を過る頃より重村選手先頭に出て第三關門(葉櫻町郵船前)に於ては第二位引田選手との間に三十間餘りの距離を生じたり山東町を経て靜岡町に入る時重村依然第一位を占め其より約百間許り後れて城戸引田加藤の各選手あり續いて白の中學選手連續し兩測の見物は堵を築きて勝敗を豫想し合へり第四關門(青島棧橋前)を通過し舞鶴濱通りに出づれば應援隊愈増加し旅順町に差かゝれる頃より先頭と二高との間は二丁餘の距りを生じ重村選手獨舞臺の觀あり長驅悠々決勝線に入る時に午後一時五十分廿六秒續いて引田城戸、藤澤、山口の順序にて到著し遂に五十分廿六秒のレコードを以て本年の名譽の優勝盃は青島新報社寄贈の金牌と共に中學重村選手の手に歸し午後二時十分終了せり當日のレコード並に順位左の如し

第一著(五十分廿六秒)中學 重村 聖 富

第二著(五十二分廿五秒)同 引田 二郎
第三著(五十二分卅二秒)山鐵 城戸 条 吉
第四著(五十三分卅六秒)商工 藤澤 忠 治
第五著(五十四分二秒)中學 山口 源 一
第六著 中學 武信 芳郎 第七著同 山口 義登
第八著 陸軍 大岩 友吉 第九著 中學 名出 一夫
第十著同 佐田 秀雄 第十一著 小學 村井刀喜司
第十二著 實業 平野 一憲 第十三著 陸軍 加藤 繁雄
第十四著 中學 越場 武夫 第十五著 商業 杉原 三郎
△山鐵對實業野球リーグ戰 四月十七日午後一時より第二小學校々庭に於て山鐵對實業第三回野球リーグ戰開催本試合は兩軍決勝試合なれば互に必勝を期して善戰善闘第八回山鐵三實業四のスコアを以て第九回に入る九回に山鐵一點を入れて同點延試合となり愈白熱的戰闘を見しが山鐵藤森が三壘側に打ちたる球を審判者フアウルと訂正宣告せるより苦情出て紛議を重ねしが山鐵主將は自己の主張の容れざりしより試合棄權を申出たれば審判者はゲームセットを宣告規則により九對零を以て實業の勝利に歸せり
△運動部觀櫻會 恒例運動部主催觀櫻會は四月二十四日午前十一時旭公園に於て開催宴酣にして部長代理西郷幹事の挨拶あり終て來るべき官民運動會に協會を代表して出場すべき責任聯絡競走選手を紹介し應援歌を高唱して午後二時盛會裡に散會せり

銀塊並英米爲替相場

倫敦先物 同現物 紐 青 英米爲替
四月一日 三二片二分ノ一 三三片八分ノ一 五七仙四分ノ一 三、九二仙八分ノ七

同 二日	三三片二分ノ一	三三片	五六仙八分ノ三	三、九二仙四分ノ一
同 三日				
同 四日	三三片八分ノ一	三三片四分ノ一	五六仙八分ノ一	三、九一仙八分ノ七
同 五日	三三片	三三片四分ノ一	五七仙	三、九一仙
同 六日	三三片四分ノ一	三三片四分ノ三	五六仙八分ノ七	三、九二仙
同 七日	三三片二分ノ一	三三片八分ノ七	五七仙八分ノ五	三、九三仙
同 八日	三三片二分ノ一	三三片	五八仙八分ノ一	三、九二仙
同 九日	三三片八分ノ五	三三片八分ノ七	五七仙八分ノ五	三、八九仙八分ノ五
同 十日				
同 十一日	三四片二分ノ一	三四片八分ノ一	五八仙八分ノ一	三、九〇仙四分ノ一
同 十二日	三六片二分ノ一	三六片	五九仙八分ノ五	三、九二仙八分ノ三
同 十三日	三四片八分ノ七	三四片二分ノ一	七二仙八分ノ七	三、九二仙八分ノ三
同 十四日	三四片八分ノ一	三三片八分ノ七	五九仙八分ノ七	三、九〇仙八分ノ三
同 十五日	三三片四分ノ三	三三片二分ノ一	五八仙四分ノ三	三、九一仙
同 十六日	三四片二分ノ一	三四片四分ノ一	五八仙二分ノ一	三、九二仙四分ノ一
同 十七日				
同 十八日	三五片八分ノ三	三四片八分ノ七	五九仙八分ノ七	三、九三仙二分ノ一
同 十九日	三四片八分ノ七	三四片四分ノ三	六一仙四分ノ一	三、九三仙八分ノ五
同 廿日	三五片	三四片五分ノ一	六〇仙八分ノ一	三、九三仙八分ノ一
同 廿一日	三四片二分ノ一	三四片八分ノ一	六〇仙八分ノ五	三、九三仙八分ノ三
同 廿二日	三四片六分ノ五	三四片八分ノ一	五九仙四分ノ三	三、九三仙八分ノ一
同 廿三日	三五片	三四片二分ノ一	五九仙八分ノ七	三、九三仙
同 廿四日				
同 廿五日	三四片八分ノ五	三四片四分ノ一	六〇仙八分ノ五	三、九三仙八分ノ三
同 廿六日	三四片八分ノ五	三四片四分ノ一	六〇仙八分ノ三	三、九五仙八分ノ三
同 廿七日	三四片八分ノ五	三四片四分ノ一	六〇仙八分ノ三	三、九五仙四分ノ一
同 廿八日	三四片二分ノ一	三四片八分ノ五	六〇仙四分ノ一	三、九四仙八分ノ七
同 廿九日	三四片八分ノ三	三四片四分ノ三	六〇仙八分ノ五	三、九五仙四分ノ三
同 卅日	三四片八分ノ三	三四片四分ノ三	六〇仙八分ノ五	三、九五仙四分ノ三

法 規

布令第四十號

民政部所管建物貸下規則中左ノ通改正ス

大正十年五月六日

青島守備軍司令官 由比 光衛

第四條ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項徵收ニ關シテハ大正五年十月軍軍令第三十一號租稅及公課金徵收手續ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

布令第四十一號

官有土地貸下規則中左ノ通改正ス

大正十年五月六日

青島守備軍司令官 由比 光衛

第九條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

借地料徵收ニ關シテハ大正五年十月軍軍令第三十一號租稅及公課金徵收手續ヲ準用ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

布令第四十二號

銅票取締規則左ノ通定ム

大正十年五月六日

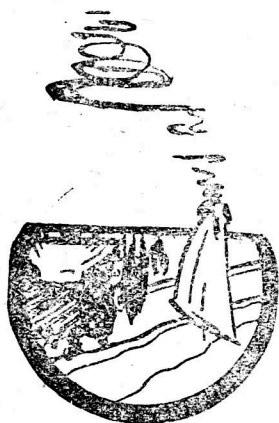
青島守備軍司令官 由比 光衛

銅票取締規則

○月 報第七號 營口商業會議所

○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○時	○時	○時	○所	○所	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月	○月
報第一一八號	報第一六四號	報第八號	報第一〇五號	報第二九三號	報第六三號	報第三二號	報第四三號	報第三卷第四號	報第一三一號	報第三三號	報第一三號	報第四卷第三號	報第一八一號	報自第四卷第七號至第四卷第八號	報自第一〇二號至算一〇四號	報第四七號	報第一一二六號	報第七年第四號	報自第三二三號至第三二四號	報自第三二四號至第三二六號	報自第三二六號至第三二八號	報自第三二八號至第三三〇號	報自第三三〇號至第三三二號	報自第三三二號至第三三四號
福井商業會議所	名古屋商業會議所	東洋拓殖株式會社	京都商業會議所	下關商業會議所	橫濱商業會議所	京都商業會議所	富山商業會議所	大日本紡績聯合會	上海人羅穀肥料同業組合	仁川商業會議所	長崎商業會議所	橫濱輸出協會	東京商業會議所	函館商業會議所	山東經濟時報社	保險銀行時報社	平壤經濟時報社	山東公論社	鐵工時報社	株式會社山本商店	日本棉花株式會社	上海日本商業會議所	天津商業會議所	漢口日本商業會議所

○上	海	○四三七號	春	申	社
○會	報	第三一號	日本	ホルトセメント同業會	
○會	報	第一一號	天津	商工協會	
○公	論	自第一一二三號	山東	公論社	
○公	論	第八卷第四號	日華	公論社	
○大	鵬	第四月號	拓殖	新報社	
○埠	頭月報	大正十年二月分	守備軍民政部鐵道部		
○統計月報		自大正九年九月分至大正九年十月分	上海港統計貿易局		
○彙	報	第一一五六號	岡山商工彙報社		
○蒙古通	報	自第一〇〇二號	蒙古	通信社	
○滿蒙彙	報	第六九號	大連商業會議所		
○貿易通	報	第一一六六號	貿易通報社		
○商工時報	報	第八卷第四號	農商務省商品陳列館		
○滿蒙之文化		第八號	大連滿蒙文化協會		
○青島商況		大正十年二月調	青島守備軍民政部		
○通商彙報		第五〇號	大阪府立商品陳列所		
○工業之大日本		第一八卷第四號	工業之大日本社		
○安東經濟時報		第六號	安東商業會議所		
○新聞及新聞記者		第二卷第一號	時事新報社		
○本邦外國貿易障害			府立東京商工獎勵館		
○橫濱港ニ於ケル本邦工藝品輸出概況		大正十年三月	神奈川縣產業部		
○大日本外國貿易					
○一覽表		大正十年三月調	橫濱商業會議所		
○綿絲紡績事情參考書		大正十年下半年期	大日本紡績聯合會調查部		
○山東ノ勞働者		大正十年三月	青島守備軍民政部		
○在支日本人商業會議所聯合會議事報告書		大正十年二月	天津日本人商業會議所		



區 別	男女別	大連	日 本 内 地				朝鮮	上海	芝罘	香港	浦鹽	ト リ エ	石 所	海 州	山 東 省	江 蘇 省	福 建 省	關 東 州	計
			大阪	神戶	門司	他ノ其													
伊太利人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭 人	男	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
奧 國 人	男	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	男女計	5 889	43	156	506	55	15	348	301	1	721	1	199	119	643	357	121	104	9,579
		667	12	125	198	30	7	83	16	—	12	—	—	1	189	86	70	28	1,524
		6,556	55	281	704	85	22	431	317	1	733	1	199	120	832	443	191	132	11,103

備 考 表中○印ハ帆船ニ依リ膠州灣外ヨリ出入セル旅客トス

渡航人員調查表

(大正十年四月)

區 別	男女別	大連	日 本 內 地				朝鮮	上海	芝罘	天津	浦鹽	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
			大阪	神戸	門司	其ノ他												
日 本 人	男	204	17	249	597	67	17	73	2	—	2	—	5	—	—	—	—	1,233
	女	70	9	152	298	55	10	20	—	—	3	—	—	—	—	—	—	617
支 那 人	男	2,283	2	14	8	1	41	387	303	96	—	475	136	1621	618	213	102	6,300
	女	262	—	1	—	—	1	62	30	11	—	56	7	314	125	94	39	1,002
英 國 人	男	1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	女	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
露 國 人	男	18	—	1	—	—	—	19	—	2	—	—	—	—	—	—	—	40
	女	18	—	—	—	—	—	12	2	4	—	—	—	—	—	—	—	36
米 國 人	男	—	—	—	—	—	—	4	1	—	—	2	1	—	—	—	—	8
	女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
獨 逸 人	男	1	—	2	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	6
	女	—	—	—	—	—	—	4	—	3	—	—	—	—	—	—	—	7
佛 國 人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
瑞 典 人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
カウカサ人	男	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	女	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	男	2,507	19	263	605	63	58	490	306	99	2	477	142	1,621	618	213	102	7,593
	女	351	9	153	298	55	11	196	32	18	3	56	7	314	125	94	39	1,671
	計	2,858	28	419	903	123	69	596	338	117	5	533	149	1,935	743	307	141	9,264

歸航人員調查表

(大正十年三月)

區 別	男女別	大連	日 本 內 地				朝鮮	上海	芝罘	香港	浦鹽	トリエ	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東省	計
			大阪	神戸	門司	其ノ他													
日 本 人	男	226	35	147	492	55	15	113	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	1,085
	女	56	12	123	198	30	7	37	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	463
支 那 人	男	5,642	8	7	12	—	—	218	301	1	721	—	198	117	643	357	121	104	8,450
	女	603	—	—	—	—	—	29	16	—	12	—	—	—	189	86	70	28	1,033
英 國 人	男	3	—	—	1	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
	女	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
露 國 人	男	14	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
	女	5	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
米 國 人	男	—	—	—	1	—	—	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	4
	女	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3
獨 逸 人	男	—	—	2	—	—	—	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	5
	女	1	—	2	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
瑞 西 人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
白耳義人	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1

品名	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
昆布 其ノ他海草	發著	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	29.6	—	—	—	—	—	29.6
	"	—	—	—	—	340.8	—	340.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
木 粉	"	18.5	—	—	—	—	—	18.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
雜貨 (表中記載ノ外)	"	1,114.3	7.9	14.4	—	4.2	—	1,140.8
	"	114.9	3.3	0.7	—	—	—	118.9
	"	19.1	0.6	224.2	—	—	—	243.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
燐 寸 材	"	—	—	24.9	—	400.3	—	425.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
硫 火 銅	鐵類	—	—	—	—	225.0	—	225.0
	"	2.0	—	—	—	—	—	2.0
	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
	"	20.0	1.6	—	—	—	—	21.6
青 銅 貨 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	180.0	—	—	—	180.0
	"	16.8	2.2	283.2	—	24.3	50.9	353.1
家 麻 雞	具袋	3.8	—	—	—	1.4	—	5.2
	"	2.2	1.1	5.7	0.4	—	—	9.4
	"	86.2	52.6	5.0	—	28.7	—	172.5
	"	4.3	43.8	6.5	1.3	—	—	55.9
容 蠟 飲	器燭	—	—	—	—	—	—	—
	"	66.0	9.8	—	—	—	—	75.8
	"	13.2	1.6	—	—	—	—	14.8
	"	10.2	16.9	—	—	0.8	—	27.9
機 其 豚	料水	—	1.8	—	—	—	—	1.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
羊 驪 馬	械他	—	—	—	—	835.9	1.0	836.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	94.8	41.8	125.0	—	200.1	0.4	462.0
	"	365.6	13.1	117.3	6.8	270.1	—	772.9
牛	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
計	"	4,128	—	—	—	—	—	4,128
	"	—	—	—	—	—	—	—
計	"	13,145.7	498.4	2,681.1	—	4,868.1	7.5	21,200.8
	"	7,870.2	219.8	10,355.3	11.1	13,702.9	—	32,159.3

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
牛油類 (表 中 ノ 記 載 除)	油ノ	69.1	4.7	32.3	—	6.0	—	112.1
油類	油	14.3	5.3	8.7	—	23.8	0.7	52.8
油類	油	8.9	2.6	0.1	0.1	—	—	11.7
油類	油	32.6	0.5	—	—	—	—	33.1
油類	油	29.5	0.1	207.3	—	15.0	—	251.9
肥料各真	種田	—	2.8	42.2	—	2.8	—	47.8
麥稈	種田	—	—	—	—	—	—	—
安	種田	152.4	0.3	—	—	—	—	152.7
安	種田	5.8	0.1	0.5	—	—	—	6.4
安	種田	133.3	0.2	—	—	—	—	133.5
藁及粟	種田	—	—	0.2	—	15.0	—	15.2
藁及粟	種田	26.0	—	—	—	—	—	26.0
藁及粟	種田	—	0.6	—	—	—	—	0.6
鹽砂	糖	653.9	4.1	—	—	104.0	—	762.0
鹽砂	糖	—	—	—	—	—	—	—
日本一那	酒	—	10.6	—	—	—	—	10.6
日本一那	酒	—	0.4	—	—	—	—	0.4
日本一那	酒	—	4.2	—	—	—	—	4.2
日本一那	酒	—	—	—	—	—	—	—
日本一那	酒	—	0.7	—	—	—	—	0.7
日本一那	酒	0.2	2.2	—	—	—	—	2.4
食料品 (表 中 ノ 記 載 除)	物	96.7	30.2	—	—	—	0.7	127.6
食料品	物	11.4	6.8	0.2	0.2	—	—	18.6
食料品	物	0.5	1.1	—	—	—	—	1.6
食料品	物	—	—	—	—	—	—	—
食料品	物	—	0.7	—	—	—	—	0.7
食料品	物	102.8	7.1	28.6	0.1	—	—	138.6
雞藍染塗	卵	—	—	—	—	—	—	—
雞藍染塗	卵	512.7	57.3	3,053.8	0.1	120.1	—	3,744.0
雞藍染塗	卵	—	—	—	—	—	—	—
雞藍染塗	卵	115.0	8.9	—	—	14.0	—	137.9
雞藍染塗	卵	18.4	4.6	0.1	—	—	—	23.1
藥品及藥材	達	90.7	15.6	4.3	—	34.3	0.3	145.2
藥品及藥材	達	16.5	2.5	0.1	—	—	—	19.1
藥品及藥材	達	24.0	2.3	—	—	30.0	—	56.3
藥品及藥材	達	—	—	—	—	—	—	—
藥品及藥材	達	1.9	2.3	—	—	—	0.3	4.5
藥品及藥材	達	0.7	—	2.3	—	—	—	3.0
煙草	草	57.9	41.4	—	—	207.3	—	306.6
煙草	草	—	3.5	—	—	—	—	3.5
煙草	草	—	—	194.0	—	222.7	—	416.7
煙草	草	32.2	0.8	—	—	—	—	33.0
煙草	草	—	—	—	—	—	—	—
豚羊獸	毛	—	—	—	—	—	—	—
豚羊獸	毛	—	0.6	—	—	—	—	0.6
豚羊獸	毛	2.8	—	—	—	37.5	—	40.3
豚羊獸	毛	—	—	—	—	—	—	—
豚羊獸	毛	161.4	—	43.3	—	—	—	204.7
牛豚魚	皮	—	0.7	0.9	—	—	—	1.6
牛豚魚	皮	38.3	10.7	26.7	—	31.9	—	107.6
牛豚魚	皮	—	—	—	—	—	—	—
牛豚魚	皮	22.5	1.9	—	—	—	—	24.4
牛豚魚	皮	530.4	84.8	6.2	—	197.8	—	819.2
牛豚魚	皮	—	0.4	—	—	—	—	0.4

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
大豆類 (大豆ヲ除ク)	豆	16.7	0.1	—	—	—	—	16.8
	著	17.6	—	—	—	—	—	17.6
	"	32.4	1.8	6.3	—	—	—	40.5
	"	13.6	—	—	—	—	—	13.6
	"	1,722.8	0.1	90.2	—	132.7	—	1,945.8
高粱	梁	—	—	—	—	—	—	—
小米	麥	949.7	—	43.8	—	—	—	993.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	87.8	9.6	22.1	—	43.8	—	163.3
	"	240.0	1.1	17.6	—	—	—	258.7
	"	3,542.8	0.2	277.1	—	27.6	—	3,847.7
穀類 (表中記載セノヲ除ク)	"	0.2	0.5	21.6	0.5	—	—	22.8
落花生	生	205.9	—	921.4	—	—	—	1,127.3
	"	1,135.2	0.1	2,529.7	—	1,031.5	—	4,696.5
	"	60.5	2.4	—	—	—	—	62.9
	粉	6.1	0.8	0.3	1.0	—	—	8.2
	"	—	0.6	—	—	0.1	0.3	1.0
陶磁器及土器	"	78.3	0.2	7.0	—	—	—	85.5
支那紙	紙	285.4	1.8	6.3	—	27.5	—	321.0
	"	2.0	3.0	13.8	—	—	—	18.8
	"	—	0.3	1.3	—	57.5	0.1	59.2
	"	—	—	1.5	—	—	—	1.5
	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
麻	"	12.1	0.2	0.8	0.1	—	—	13.2
綿	"	52.0	0.4	54.2	—	121.7	—	228.3
	"	0.4	0.1	51.6	—	—	—	52.1
	"	345.1	22.0	—	—	—	—	347.1
	布	1.5	11.0	—	—	—	—	12.5
	絲	1,432.8	61.6	46.4	—	14.9	—	1,555.7
綿	"	—	2.6	338.8	—	—	—	341.4
綿製品	品	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.4	4.8	0.1	0.2	—	—	5.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
	絹絲 (屑ヲ含ム)	7.5	2.0	2.9	—	—	—	12.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
絹布類	"	12.7	10.7	—	—	—	—	23.4
繭 (屑繭ヲ含ム)	繭	—	—	—	—	—	—	—
	"	1.2	—	—	—	—	—	1.2
	"	2.7	—	3.9	—	—	—	6.6
	"	55.6	—	3.7	—	—	—	59.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
梨	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
乾柿	柿	—	—	—	—	—	—	—
	"	11.3	0.1	2.5	—	—	—	13.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
	桃	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
蜜柑	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜及西瓜	瓜	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	子	2.3	—	—	—	—	—	2.3
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
果實 (表中記載モノヲ除ク)	"	8.0	—	3.9	—	—	—	11.9
石油	油	—	0.1	670.9	—	792.5	—	1,463.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
落花生油	"	100.9	—	1,326.9	—	86.4	—	1,514.2
豆油	"	30.9	—	11.2	—	—	—	42.1

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
同同同屑	擔	—	—	—	—	—	—	11	—	11
白黃黃黃	〃	—	—	—	—	—	—	156	—	156
機座再機	〃	111	—	—	—	—	83	79	—	273
械操操械絲	〃	29	—	—	—	—	—	195	—	224
繭品綉皮皮	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生山犬生	枚擔	4	—	—	7	—	3	—	—	10
生麥同同牛	枚擔	5,393	—	—	170	—	46	18	—	238
生麥同同牛	枚擔	—	—	—	—	—	—	72	99	5,564
蔬豆胡羊	枚擔	—	—	—	—	—	—	66,767	—	66,767
米	〃	64	—	—	—	—	—	—	—	73
素	〃	820	—	—	22	—	—	4	9	853
米	〃	12,026	—	—	—	—	3	—	—	12,029
素	〃	157	1,365	—	—	—	1	—	—	1,523
米	〃	1	10	—	—	—	—	—	—	11
米	〃	106	—	—	—	—	—	—	—	106
米	〃	—	—	—	—	—	—	157	—	157

青島三驛發着貨物主要品

(大正十年四月)

(單位噸 獸類ハ頭數)

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	發著	195.0	—	15.0	—	15.0	—	225.0
コ	〃	3,021.5	0.4	225.0	0.2	8,694.9	—	11,942.0
石	〃	322.5	0.1	—	0.1	1,881.4	—	2,204.1
煉瓦 (瓦ヲ含ム)	〃	—	0.5	—	—	—	—	0.5
セメント	〃	—	—	—	—	984.0	—	984.0
硝子板	〃	17.0	0.7	—	—	—	—	17.7
硝子製品	〃	2.8	0.2	—	—	—	—	3.0
桐	〃	18.1	8.4	11.5	—	60.2	—	98.2
木材 (板ヲ含ム)	〃	90.0	—	15.0	—	15.0	—	120.0
竹及割竹	〃	4.6	0.3	—	—	—	—	4.9
硝子製品	〃	—	—	—	—	—	—	—
桐	〃	5.1	0.7	—	—	—	0.1	5.9
木材 (板ヲ含ム)	〃	12.2	1.0	—	—	—	—	13.2
竹及割竹	〃	—	—	—	—	—	—	—
硝子製品	〃	619.4	—	1,598.9	—	—	—	2,218.3
木材 (板ヲ含ム)	〃	219.1	19.5	24.4	—	948.5	—	1,211.5
竹及割竹	〃	27.2	0.8	—	—	—	—	28.0
硝子製品	〃	71.6	—	—	—	—	—	71.6
桐	〃	—	—	—	—	—	—	—
木材 (板ヲ含ム)	〃	—	—	—	—	—	—	—
竹及割竹	〃	32.1	0.4	—	—	—	—	32.5
硝子製品	〃	2.1	1.8	—	—	—	—	3.9
鐵板鐵製品	〃	71.5	15.2	29.8	—	167.0	0.3	283.8
鐵鍋鐵	〃	6.5	2.8	0.2	—	30.5	—	40.0
古	〃	—	—	—	—	—	—	—
鐵板鐵製品	〃	121.4	—	—	—	—	—	121.4
鐵鍋鐵	〃	722.7	0.7	—	—	—	—	723.4
古	〃	14.8	—	0.1	—	—	—	14.9

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
同石麥砂同	斤擔	1,080	—	—	—	1,080
精條真	"	48	—	—	—	48
鹼稈	"	261	—	—	—	261
糖	"	—	—	—	—	—
品形田(赤)	"	—	—	—	—	—
品形田(白)	"	—	—	—	—	—
茶煙木	"	755	—	—	—	755
草	"	17	—	—	9	26
製	"	101	—	—	4	105
刻	"	—	—	—	—	—
ミ品	"	—	—	—	—	—

青島輸出入貿易

(大正十年三月)

— 膠 海 關 統 計 —

輸出支那品仕向地別

品 目	單 位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生豆黃牛獸	頭擔	267	—	—	—	—	—	—	—	267
牛粕豆肉骨	クオ一擔	17,023	—	—	—	2,780	983	99	—	20,885
銅豚鹿山棉	擔	18,190	—	—	—	—	—	—	—	18,190
東	"	—	—	—	—	—	—	165	—	165
塊毛帽炭花	個個擔	39,431	—	—	470	—	1,555	9,744	3,448	54,678
錫黑蛋蛋乾	擔	235	—	—	—	—	51	—	—	286
棗白黃蛋	"	—	—	—	139	—	—	—	—	139
卵	"	1	—	—	—	—	—	—	—	1
鷄麻鹽果硝	個擔	29,108,115	351,600	—	—	—	20,800	—	—	29,480,515
魚鮮品	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
物子	"	—	—	—	—	—	—	157	274	431
花	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生仁髮子	擔	7,208	—	—	—	420	—	1,344	—	8,972
帽	擔	121,192	—	—	799	3,000	4,104	10,376	28,175	167,646
落同頭麥藥	擔	26	—	—	—	—	—	—	—	26
豆落梨鹽鹽	擔	8	—	—	16	—	42	—	18	84
花生	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
油油	"	50	—	—	5,883	—	3	1,646	13,468	21,047
豚	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仁子麻操操	擔	183,999	3,478	—	75,600	—	—	—	—	263,077
杏瓜胡生同	"	—	—	—	72	—	—	—	—	72
絲	"	—	10	—	—	—	—	—	—	10
白	"	337	—	—	—	—	—	—	—	337
座再	"	—	—	—	—	—	—	13	—	13
再	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
同同紙胡	(日本箱入) (裸)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	1,251	—	—	45	—	508	1	—	1,805
	椒	—	—	—	28	—	—	—	—	28
	米	8,758	—	—	19,377	—	—	—	—	28,135
昆目石同曹	布酒條用達	55	—	—	188	—	—	78	—	321
	本鹼	1,020	—	—	—	—	—	—	—	1,020
	粧	44	—	—	7	—	14	—	—	65
	海關兩	2,846	—	—	—	—	504	—	—	3,350
	擔	168	—	—	295	—	871	—	1	1,335
醬砂同同同	油(赤)	762	—	—	—	—	—	97	—	859
	糖(白)	—	—	—	21,230	—	—	—	—	21,230
	精製水	—	—	—	1,053	—	—	—	—	1,053
		6,131	—	—	12,915	—	3	9	—	19,058
		232	—	—	1,075	—	—	—	—	1,307
木同	(堅)(軟)	508,523	—	—	10,769	—	—	—	—	519,292
		29,458	—	802,934	—	—	—	14,004	—	846,396

輸入支那品仕出地別

(大正十年三月)

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
(綿製品類) シ一チシタ布(上海) 雲齊色土布	疋	14,020	—	—	—	14,020
	"	540	—	—	—	540
	"	20	—	—	—	20
	"	147	—	—	—	147
綿(雜貨)	"	7,718	—	—	315	8,033
砒竹竹	個擔	372	—	—	60	432
	"	276,036	—	—	—	276,036
	"	1,189	—	—	—	1,189
筍書蠟	"	119	—	—	—	119
	"	38	—	—	—	38
米	"	1,398	—	—	—	1,398
磁	"	10	—	—	—	10
紙石紙小夏	"	2,293	—	214	—	2,507
卷炭	噸箇擔	—	—	5	—	5
麥粉布	"	432,960	—	—	—	432,960
	"	375	—	—	—	375
	"	5	—	—	—	5
精製	"	—	—	—	—	—
	"	200	—	—	61	261
	"	2,670	—	—	2	2,672
	"	1,628	—	—	1	1,659
	"	9,985	—	—	387	10,372
錫其	"	509	—	—	229	738
	"	303	—	—	—	303
	"	127	—	—	3	130
	"	125	—	—	—	125
	"	260	—	—	—	260
生同	雙	—	—	—	—	—
	"	7	—	—	—	7

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
(金屬品)										
銅銅片線板	擔	4	—	—	—	—	—	—	—	4
(鐵及軟鐵新)	"	1	—	—	—	—	2	—	—	3
	"	8	—	—	—	—	—	—	—	8
條屑鐵及屑鐵線	"	226	—	—	67	—	552	—	—	845
鐵及屑鐵線	"	—	—	—	127	—	710	138	—	975
條屑鐵線	"	—	—	—	—	—	242	—	—	242
鐵用竿鐵	"	1	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵釘	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一鐵片及鐵板	"	9	—	334	25	—	515	—	—	883
鐵線鐵板	"	199	—	—	375	—	356	—	—	930
鐵及軟鐵(古片)	"	—	—	—	143	—	44	—	—	187
鐵及金鐵	"	4,129	—	—	9,858	—	7,966	—	—	21,953
鐵及金鐵	"	23	—	—	—	—	335	—	—	358
鉛鋼塊鐵線	"	31	—	—	401	—	55	—	—	490
鋼葉白銅片及貨	"	—	28	—	90	1	716	—	—	835
(雜)	"	—	5,081	—	—	—	34	—	—	5,115
	"	—	—	—	—	—	3	—	—	3
麻麥綿袋酒帶一釦	枚	1,271	—	—	9,855	—	—	—	—	11,126
銅鈕釦花鈕釦	擔	40	—	—	—	—	—	—	—	40
	兩	7	—	—	—	—	—	—	—	7
	擔	4	—	—	—	—	3	6	—	13
	哥	396	—	—	—	—	400	—	—	796
蠟七同磁紙	擔	4	—	—	—	—	—	—	—	4
メ石卷	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ン(日本品)器草	擔	2,849	—	—	—	—	—	—	—	2,849
瓦煙	擔	2,495	—	—	—	—	37	—	—	2,532
紙	海關兩	—	—	5,000	—	—	5,365	—	—	10,365
同掛石(日本品)計炭	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
置時	噸	582	—	—	—	—	30	—	—	612
(染料顏料塗料)	噸	1,900	—	—	—	—	4	—	—	1,904
アニリン	海關兩	1,155	—	—	—	—	31,184	—	—	32,339
人天自然藍鉛夜藍狀粉斯料	擔	—	—	—	—	—	1,279	5	—	1,284
白朗電氣越幾	"	—	—	—	154	—	—	—	—	154
	"	—	15	—	40	—	—	—	—	55
	"	—	—	—	—	—	2	—	—	2
	海關兩	9,739	—	136	—	—	915	—	—	10,790
瑤洗面器	打	150	—	—	—	—	—	—	—	150
麥燈及洋燈(黃磷)	擔	11	—	—	—	—	2	—	—	13
燈及洋燈(黃磷)	箱	210	—	—	—	—	433	—	—	643
	海關兩	865	—	—	—	—	878	—	—	1,743
	哥	40,217	—	—	—	—	—	—	—	40,217
同疊及莫全座	"	260	—	—	—	—	—	—	—	260
ンデシスミル	枚	24,425	—	—	—	—	2,000	—	—	26,425
針石油米品(箱入)	打	—	—	—	—	—	150	4	—	154
	千本	11,250	—	—	—	—	6,850	—	—	18,100
	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同同同(同)	"	—	—	—	—	—	429,952	—	—	429,952
(露國箱入)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(裸)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マトラ(箱入)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(大正十年三月)

青島實業協會月報 第四拾號

第四拾號

1

(定不序順)

青島實業協會員

大正十年五月現在

會 員		代 表 者		所 在	
岩城商會支店	伊藤忠商事株式會社青島支店	原田汽船株式會社青島支店	日本郵船株式會社青島出張事務所	日本綿花株式會社青島支店	東和公司青島支店
東亞煙草株式會社青島販賣所	朝鮮銀行青島支店	大倉商事株式會社青島出張所	橫濱正金銀行青島支店	大連汽船株式會社青島出張所	大日本麥酒株式會社青島出張所
內外綿株式會社青島出張所	山田出張所	三菱商事株式會社青島出張所	神戶棧橋株式會社青島派出所	山東運輸株式會社青島支店	日華協信公司青島支店
青島絲廠	山東化學工業所	青島鹽業株式會社	東洋殖產株式會社青島支店	東洋製油株式會社青島支店	大星公司青島支店
青島取引所信託株式會社	田邊郁太郎	上林喜三次郎	川畑竹馬	西岡勝三郎	鶴原梅次郎
河原熊太郎	西村義郎	讚井源輔	石橋藤次郎	野原大輔	松本文三郎
三宅重孝	佐々木國藏	山田三平	東條吉之助	鹽谷治太郎	神谷武松
藤波茂時	鈴木格三郎	磯野清平	三好光三郎	針貝金次郎	田中穆
遠藤要	峰村正三	早舟町	所澤町	葉櫻町	北京町
若鶴町	北京町	合名會社鈴木商店青島出張所	中村組青島支店	東洋鹽業株式會社青島支店	泰利商會
山東興業株式會社	吉澤洋行	青島製粉株式會社支店	新利洋行出張所	福昌公司青島出張所	南昌洋行青島出張所
龍口銀行青島支店	濱口商事株式會社青島出張所	青島華窯業株式會社	大日本紡績株式會社	田中商事株式會社	大阪商船株式會社
正隆銀行支店	伊東經真	一宮晃	所澤町	副島高市	小林乃
櫻井信四郎	大塚彌	金子慶治	關口四平	貝原收藏	松崎翠
空閑知鷺治	吉澤干城	百溪深	古賀茂登吉	武田昌雄	中村道三
原田昇	榎本勝吉	石井久次	中村康之助	進藤省吾	空閑知鷺治
川原井左司馬	松本正平	早舟町	大黑町	葉櫻町	所澤町
葉櫻町	所澤町	葉櫻町	所澤町	葉櫻町	所澤町

大正十年五月十八日印刷
 大正十年五月二十日發行
 大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）

發行兼編輯者
 印刷所
 印刷所

青島靜岡町十番地 吉見正任
 青島靜岡町十四番地 青島實業協會
 青島靜岡町十四番地 青島新報社
 青島靜岡町十四番地 足立孝
 （實費銀參拾錢）